

■ 参考資料

こみせの町を活性化する方法

設計課題 こみせの町を活性化する方法

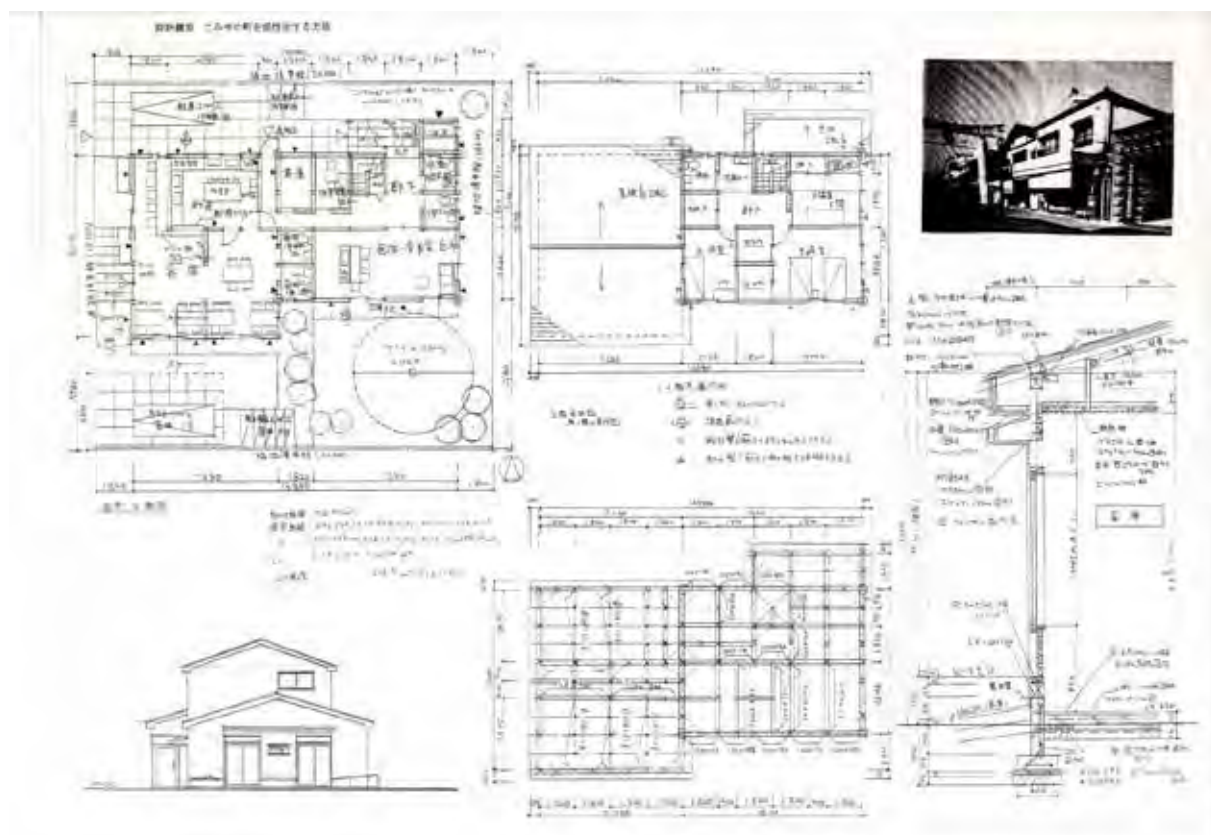
① こみせ空間を活用した活性化のアイデア

こみせの町並みの資料には古い様式で実用可能な建物が建てられていることからやはり交通の便をよくし、人が集まり手際に行ったり来たりを繰り返すことによる人の行きがうらた人の気が集まる環境にしてみようと思う。

提案として人形町天満宮の参道をイメージした空間。

福岡県太宰府市にある太宰府天満宮は歴史的名所。天神様（菅原道真公）を祀る神社があり宇都宮御邸跡の神社として全国からご参詣を蒙っている。参道には坊主が昔は天竺様に御縁のある歴史的名所が往時を伝えている風情がある。朝早く、年末年始の参詣は全国からの参拝客で大変なご参詣があり物方に迷わないほどである。それに加え参道には有名な御家御膳所参道の参詣したガムがある。ガムはいつでも調製できる。

ということでこみせの町には名物あんこもちがあり美味しい焼き菓子もある。歴史的に有名な人物を一大ディスプレイし地域の活性化（イベント）にする（よ）からしれない。（こみせの町を物語るようなデザインをつくる）そこで店舗併設住宅を建てて名物あんこもちに特加をつけ手前に入るできる店舗にして販売してみる。そうすることで人が集まり集まり参りに町の収益に結びつけ更に町の活性化につながるというところを提案する。



応募区分
[A]



(写真1)

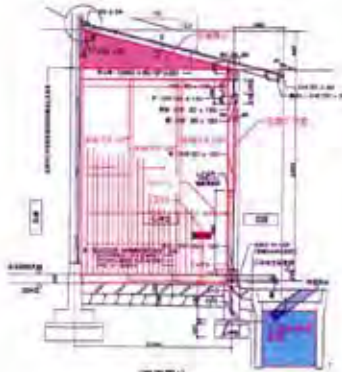
[A.保全修理部門現存する「こみせ」による歴史的町並みのストリートマネジメント]

①「こみせ」空間を活用した活性化のアイデア

- ①「こみせ」の現状は、(写真1)のように、定置廃物処理、店舗の新築や夏の強い日差し等の被害から人々を脅かすような環境から空間を狭める状態になっています。
- 以前、「こみせ」は、人々が勝手に行き交う「道路」として、両側の商店街を結ぶ役割を担っていました。だが現在は「道路」が狭くなり、観光客は安全で便利な「こみせ回廊」を多く利用して往還するだけになっています。
- この回廊する観光客が「こみせ」の中に滞在してもらう、「フレイ」にして「回廊」のように各々の収益防止対策の強化(土留め)を各店舗の中心に置き、回廊の中に設置(土留めなど)、(ロード)をしっかりとることで、一年を通して冬・夏も活用するものです。
- ②「こみせ」の現状は、(写真1)のように、定置廃物処理、店舗の新築や夏の強い日差し等の被害から人々を脅かすような環境から空間を狭める状態になっています。
- 以前、「こみせ」は、人々が勝手に行き交う「道路」として、両側の商店街を結ぶ役割を担っていました。だが現在は「道路」が狭くなり、観光客は安全で便利な「こみせ回廊」を多く利用して往還するだけになっています。
- この回廊する観光客が「こみせ」の中に滞在してもらう、「フレイ」にして「回廊」のように各々の収益防止対策の強化(土留め)を各店舗の中心に置き、回廊の中に設置(土留めなど)、(ロード)をしっかりとることで、一年を通して冬・夏も活用するものです。
- ③「こみせ」の現状は、(写真1)のように、定置廃物処理、店舗の新築や夏の強い日差し等の被害から人々を脅かすような環境から空間を狭める状態になっています。
- 以前、「こみせ」は、人々が勝手に行き交う「道路」として、両側の商店街を結ぶ役割を担っていました。だが現在は「道路」が狭くなり、観光客は安全で便利な「こみせ回廊」を多く利用して往還するだけになっています。
- この回廊する観光客が「こみせ」の中に滞在してもらう、「フレイ」にして「回廊」のように各々の収益防止対策の強化(土留め)を各店舗の中心に置き、回廊の中に設置(土留めなど)、(ロード)をしっかりとることで、一年を通して冬・夏も活用するものです。
- ④「こみせ」の現状は、(写真1)のように、定置廃物処理、店舗の新築や夏の強い日差し等の被害から人々を脅かすような環境から空間を狭める状態になっています。
- 以前、「こみせ」は、人々が勝手に行き交う「道路」として、両側の商店街を結ぶ役割を担っていました。だが現在は「道路」が狭くなり、観光客は安全で便利な「こみせ回廊」を多く利用して往還するだけになっています。
- この回廊する観光客が「こみせ」の中に滞在してもらう、「フレイ」にして「回廊」のように各々の収益防止対策の強化(土留め)を各店舗の中心に置き、回廊の中に設置(土留めなど)、(ロード)をしっかりとることで、一年を通して冬・夏も活用するものです。



(平面図)



(断面図1)

応募区分
[A]



(写真2)



(写真3)

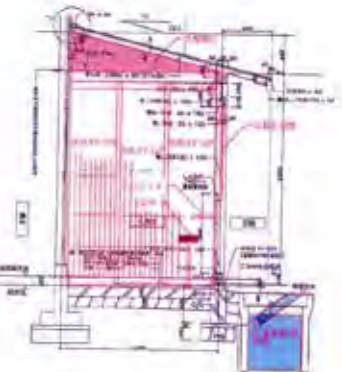


(写真4)

[A.保全修理部門現存する「こみせ」による歴史的町並みのストリートマネジメント]

②「こみせ」の維持管理に使用出来る収益利用の提案
③「こみせ」の持続的保全のためのマネジメント手法の提案
④「こみせ」の保全修理に関する技術や知識の共有に関する提案

- ①「こみせ」の現状は、(写真1)のように、定置廃物処理、店舗の新築や夏の強い日差し等の被害から人々を脅かすような環境から空間を狭める状態になっています。
- 以前、「こみせ」は、人々が勝手に行き交う「道路」として、両側の商店街を結ぶ役割を担っていました。だが現在は「道路」が狭くなり、観光客は安全で便利な「こみせ回廊」を多く利用して往還するだけになっています。
- この回廊する観光客が「こみせ」の中に滞在してもらう、「フレイ」にして「回廊」のように各々の収益防止対策の強化(土留め)を各店舗の中心に置き、回廊の中に設置(土留めなど)、(ロード)をしっかりとることで、一年を通して冬・夏も活用するものです。
- ②「こみせ」の現状は、(写真1)のように、定置廃物処理、店舗の新築や夏の強い日差し等の被害から人々を脅かすような環境から空間を狭める状態になっています。
- 以前、「こみせ」は、人々が勝手に行き交う「道路」として、両側の商店街を結ぶ役割を担っていました。だが現在は「道路」が狭くなり、観光客は安全で便利な「こみせ回廊」を多く利用して往還するだけになっています。
- この回廊する観光客が「こみせ」の中に滞在してもらう、「フレイ」にして「回廊」のように各々の収益防止対策の強化(土留め)を各店舗の中心に置き、回廊の中に設置(土留めなど)、(ロード)をしっかりとることで、一年を通して冬・夏も活用するものです。
- ③「こみせ」の現状は、(写真1)のように、定置廃物処理、店舗の新築や夏の強い日差し等の被害から人々を脅かすような環境から空間を狭める状態になっています。
- 以前、「こみせ」は、人々が勝手に行き交う「道路」として、両側の商店街を結ぶ役割を担っていました。だが現在は「道路」が狭くなり、観光客は安全で便利な「こみせ回廊」を多く利用して往還するだけになっています。
- この回廊する観光客が「こみせ」の中に滞在してもらう、「フレイ」にして「回廊」のように各々の収益防止対策の強化(土留め)を各店舗の中心に置き、回廊の中に設置(土留めなど)、(ロード)をしっかりとることで、一年を通して冬・夏も活用するものです。
- ④「こみせ」の現状は、(写真1)のように、定置廃物処理、店舗の新築や夏の強い日差し等の被害から人々を脅かすような環境から空間を狭める状態になっています。
- 以前、「こみせ」は、人々が勝手に行き交う「道路」として、両側の商店街を結ぶ役割を担っていました。だが現在は「道路」が狭くなり、観光客は安全で便利な「こみせ回廊」を多く利用して往還するだけになっています。
- この回廊する観光客が「こみせ」の中に滞在してもらう、「フレイ」にして「回廊」のように各々の収益防止対策の強化(土留め)を各店舗の中心に置き、回廊の中に設置(土留めなど)、(ロード)をしっかりとることで、一年を通して冬・夏も活用するものです。



(断面図2)

黒石 煌きの「こみせ」ストリート

こみせによる街の活性化＝歴史×自然×地域×活動

歴史の継承＝こみせ建築様式＋まちの記憶の展示

歴史の継承＝こみせ建築様式＋まちの記憶の展示

夏
バラ

春
桜

秋
菊

冬
雪灯り

自然＝春夏秋冬の表現

地域＝出陣との連携

弘前
ねぶた

平川
りんご

こけし

黒石温泉地

こみせがまちの芯にあって黒石ブランドを発信する

黒石
歴史継承と健康の街

まちの活性化
消費生活圏の拡大
滞在＋回遊機能強化

駅前・横町一帯の活性化
観光客増大化
ブランド情報発信

街の運営＝不動産＋イベント＋展示＋観光

これまでの機能

運営
中央
駅前・横町こみせストリート
運営会社

出資
地域連携
行政
一般市民
機関投資家

環境
こみせの機能強化
これまでに機能に加えて
ギャラリー
イベント機能
などを強化する

黒石「こみせ」再生提案競技

こみせによる街の活性化＝歴史×自然×地域×活動

黒石
煌きの「こみせ」ストリート

様々な市場

こけし りんご ねぶた

活動＝通行機能＋立寄機能＋滞在機能＋ギャラリー＋イベント交流＋観光

ギャラリーとして歴史を伝える企画展示

黒石「こみせ」再生提案競技

(喫茶店)

私達は喫茶店を提案します。
 主として、メニューは、コーヒーを中心とした。また、スナックやお菓子など
 販売し、朝の時間帯も可能にする。

メニュー

食品	飲料
パン	コーヒー
ケーキ	有糖飲料
チョコレート	キャラメルデザート
アイス	ホットドリンク
フルーツ	ミルク
お菓子	ココア
フルーツ	ココア・ミルク
チョコレート	お茶
	ソフトドリンク

店内の設備は、カウンターと可能に
 季節ごとのイベントを催すことも可能。

図

図

三人で食事、利用時間短縮
 食事は水飲み、景観、色も楽しめ
 朝、日中、夕方まで営業を希望する。

(駄菓子屋)

私達は駄菓子屋を提案します。
 この相場の前の通り、駄菓子屋を販売し、店内には、オセロや
 将棋、トランプなどを貸し出し、店内で遊ぶことが
 でき、またおぼやけ大だまを貸し出し、販売します。

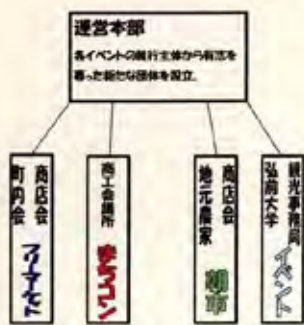
図

駄菓子屋を提案した理由は、この地域の伝統的な
 趣のある建物がある。また、この地域の駄菓子屋の
 イメージに合うと思われ、この駄菓子屋を提案
 します。

「春夏秋冬 ALL 黒石」

春夏秋冬 ALL 黒石

概要
 年間を通して継続的に子店を利用したイベントを実施する。これにより、黒石市伝統的建造物保存地区に訪れるひとを増やし、こみせ維持管理の収益を得る。主な事業については定期朝市、まちコン、フリーマーケット、こけし灯籠設置強化事業強化の四つを主体に考えている。



主体
 黒石市、伝統的建造物所有者商店会、住人、大学による官民主体を構想している。各ファクターから有志を募り春夏秋冬 ALL 黒石実行委員会を設立する。収益が上げれば財団化が望ましいとも考えられている。

定期朝市 (冬季を除く)

内容
 午前中3時間程度程度を見込み、道路を多行者天国とし、こみせ空間に出演する。遠くまで買い物に行くのが難しい高齢者や住民対象とし、新鮮な野菜や果物の販売を行い、出展者だけでなく買手も同じ45分、取組の方針としては出展者からの出展料の徴収と朝市委託販売を行う場合の委託料をとることとしている。

まちコン+フリーマーケット

内容
 高橋家、かくし広場、塩海通商店、中村商店、津軽こけし会、すずのやを参加店舗とし、まちコンを行う。以下は詳細設定例である。
 参加料 男性4000円 女性3800円
 高橋家、かくし広場→ コーヒー等の甘味や飲み物を提供。かくし広場に足湯の設置
 塩海通商店、中村家→ 日本酒と野地酒の販売や提供を行っているにどく
 津軽商店街やすずのや→ 両側に自由に出入りができるようにしていただく。
 同時にこけし広場にて地元特産品のフリーマーケットを行い、参加者が自由に特産品を買ってもらえるようにする。ちなみにこけしに関しては多行者天国による方針。

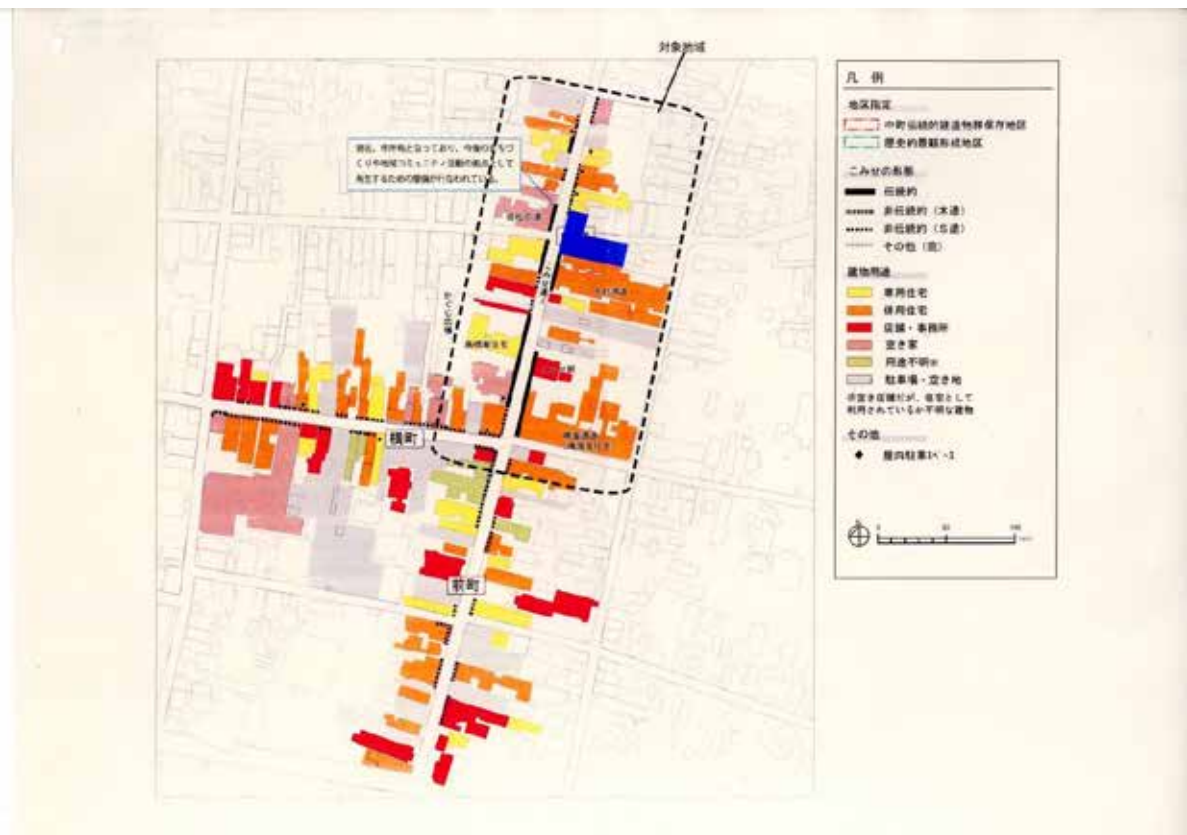
夏イベント～ビアガーデン in かくし広場～

内容
 中村商店、塩海通野地酒が控めるビアガーデンを開催する。例として参加費を固定すると
 参加費は男性5000円を女性3500円とする。

冬イベント～こけし灯籠、甘酒フェア～

内容
 現在行われているイベントを見直し、こけしデザインコンペを行い、小学生や住民からアイデアを募り、大賞を取った作品を実際に行ってもうイベントとする。その際に地酒の甘酒を振興し、大人も楽しめるようなイベントとする方針。

・このように、一年を通してイベントを通して地域資源をこみせに集中させ、黒石の魅力体験できる。



「こけしポートによるこみせ通りの一体感の醸成」

こけしホールによる通りの一体感の醸成

概要
高石市で有名なこけしをモチーフにしたポールをこみせの間に設置。ポールの頭の部分には電球が入っているため、夜間としての役割を果たす。また、胴体部分に広告を入れることで広告収入を得ることができる。ポールは複数設置することで「高石市をPRするモニュメント」としての役割も果たす。

対象地区
伝統的建造物保存地区である中町のこみせ通り

運営方法
広告収入
収益はこみせの維持費用に充てる

主体
作品「春夏秋冬を丸く置ね」と同様

電球

道路

調整は街並みと合わせた高さ

雨や雨でも広告が濡れないように外側がプラスチックで覆われている
デジタル広告

B 部門

こみせ市場



concept

現代の農業が中絶する恐れがない、新鮮な野菜や果物を
消費者がいつでも手軽にこみせで採れることを目指す。

この市場は、地元産の新鮮な野菜や果物を採れること
を目的として、消費者がいつでも採れる市場である。
地元産の新鮮な野菜や果物を採れること
を目的として、消費者がいつでも採れる市場である。

地元産の新鮮な野菜や果物を採れること
を目的として、消費者がいつでも採れる市場である。
地元産の新鮮な野菜や果物を採れること
を目的として、消費者がいつでも採れる市場である。

地元産の新鮮な野菜や果物を採れること
を目的として、消費者がいつでも採れる市場である。

image



「地元産の新鮮な野菜や果物を採れること」

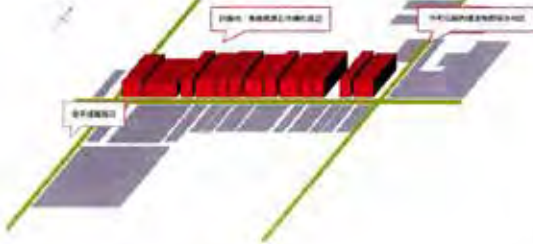


「地元産の新鮮な野菜や果物を採れること」



「地元産の新鮮な野菜や果物を採れること」

map



suggestion

地元産の新鮮な野菜や果物を採れること
を目的として、消費者がいつでも採れる市場である。
地元産の新鮮な野菜や果物を採れること
を目的として、消費者がいつでも採れる市場である。

地元産の新鮮な野菜や果物を採れること
を目的として、消費者がいつでも採れる市場である。



黒石「こみせ」再生

コンセプト 黒石「こみせ」再生

コンセプト

① こみせ商店街の再生

日本ならではの、東北ならではの、黒石ならではの特長のある小店舗を繋ぎ合わせ、新たな魅力のある世界が展開した商店街「こみせ（個性ある小店舗の集結）」を再生します。

② こみせ再生株式会社創設の目的

こみせ商店街の復興と投資を行う、「こみせ再生株式会社」を創設します。

③ こみせ再生株式会社との事業内容

こみせを再生する小店舗への投資と、こみせ商店街の企画運営を主な事業として行います。具体的には、こみせを各小店舗の整備、小店舗事業者の誘致、小店舗で販売する商品の企画販売、こみせ商店街の企画運営などを行います。

④ こみせ商店街の特長のある小店舗の企画「青森県産品販売所」

青森特産品のゴボウ、鱈肉、シイタケ、味噌などを使った「鱈ゴボウ」を開発します。鱈ゴボウは、ご飯、麺、パンなどに合わせる事ができる便利な惣菜です。そして、黒石特産品の梨、柿などに合うラッパドレッシング、濃厚卵、リンゴ乳飲料、飲料、デザートなどを使い、青森県産品ならではの惣菜を開発します。

青森県産品販売所、こみせ商店街の集結で販売するとともに、インターネット上で扱えるこみせ商店街でも販売します。

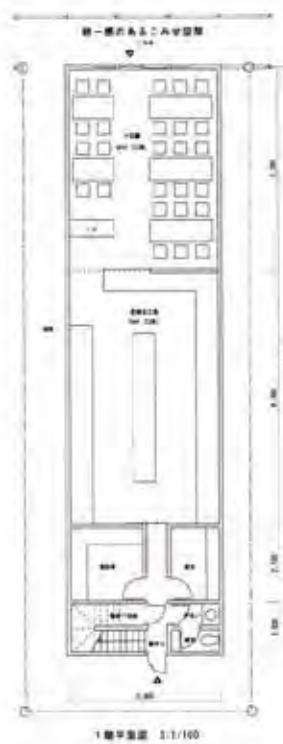
⑤ 青森県産品販売所運営イメージ

1階には、こみせへの店舗一階工場を確保し、2階には店舗を確保します。目と顔が一棟になり、人が来店時に立ちこめて、賑わいを演出します。また、販売量が増え事業を拡大する時は、黒石市内に新たな加工工場を確保し、黒石の地域産業の発展に貢献します。



鱈ゴボウ

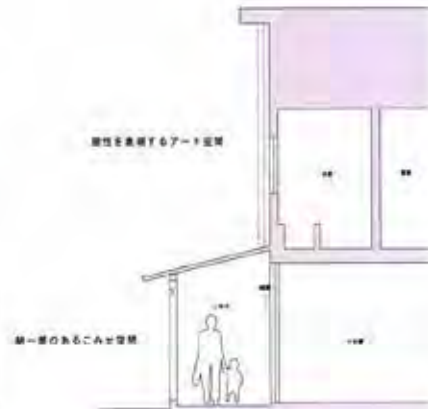
鱈肉



黒石「こみせ」再生-1



立見図 1:1/50



断面図 1:1/30

⑥ 個性あるこみせの再生

こみせで営むための第一歩をつくり、こみせ商店街のコミュニティを醸成するだけでなく、こみせに集まる店舗間の集約は、材質と形態を統一しながら店舗の個性を表現するアート空間にします。

このように、こみせ商店街の統一感と個性のある街並みが、訪れた人々に感動を与えます。

黒石「こみせ」再生-2

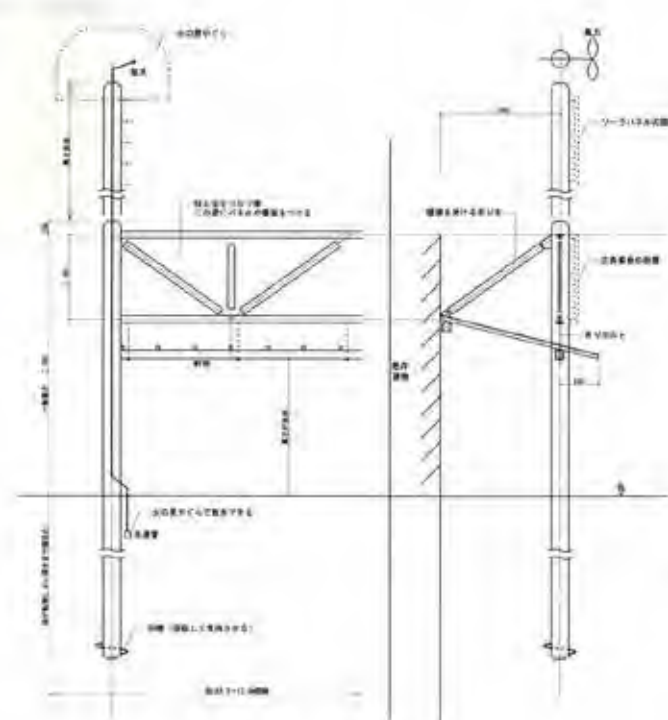
「こけし柱」によるこみせの再生



「こけし柱」によるこみせ再生の意義

- ① 空間デザインについて
 - ・ 電柱のよりな通りにするよりも目立たなくともよい。
 - ・ 従って、こみせの高さや作りが自由に変われば、かつ経済的に建設コストが削減される（「こけし柱」を提案する）。
- ② こみせの意義について
 - 「こけし柱」は電力・通信・防災機能・災害復旧のための金を集めて、こみせ再生のコーディネート手段。
 - ・ 基本はこの町の住み手暮らしやすい事。
 - ・ 町の顔つきを良くするには、電柱がなくてはならず公衆利用が重要である。
 - ・ 必要である一棟一棟再生が重要である。
 - ・ 例年所・老人施設・保健的施設等の建設で町を元気にする。
 - ・ 知事の人々の中で進む所もある。
 - イ、補助費を利用したモデルとなる（建設費）を減らす。
 - ロ、有料でペットの敷設ができれば補助も取り戻せる。

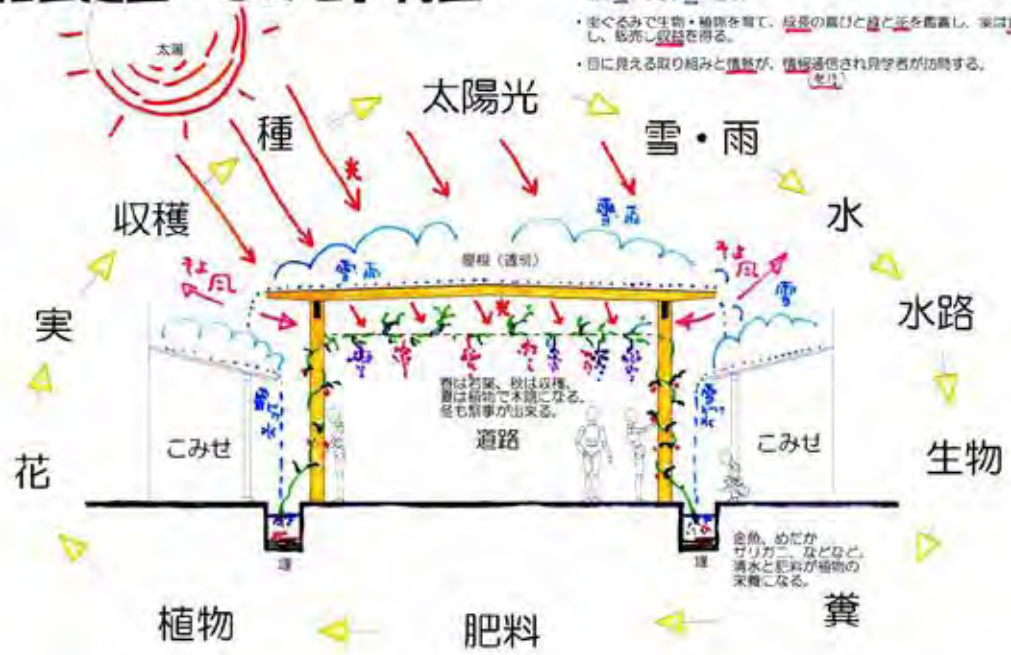
- 電柱の活用における意義
(目的に利用される事が前提)
- ① 公共施設として利用
- イ、公共の防災
- ロ、市民参加型施設に活用
- ニ、自治体の働きかけによる
- ハ、企業する人に賛助、会社をつくらせてもらう
- ホ、地域の財産を活用する工夫をつくる
- ヘ、地域の財産を全国に発信する工夫をつくる
- ② 自治体職員及び関係
- イ、事業者と連携して行う
- ロ、公民連携(PPP)を促進する
- ハ、建設を利用した人は無利です
- ニ、本物の高さを保ちながら再生を行う



- I. こみせの特徴
1. 一本の鉄骨柱(鋼骨)で建物を支える
 2. 建物の構造は木造で統一できる
 3. 照明器具やボスターの取付が可能
 4. 屋外消火栓の取付が可能(消防と協議必要)
 5. 柱の高さを自由に定める事ができる
 - イ 屋根の高さが自由
 - ロ 各戸が有線でつながり家で職人同士のコミュニケーションが楽になる(TVで会話)
 - ハ 防災無線・カメラの設置
 - ニ ソーラ・風力発電の設置可能
 - ホ 火の事やどらら設置可能
 6. 柱及び付属品の鉄骨は屋根ドア鎖としてメンテナンスフリーとする
 7. 柱にこけしの柱を置くと、「こけし柱」になる
- II. 構造的特徴
1. 柱は小型の鋼骨で地中に埋設し自立させる
 2. 基礎に土が付いているので、埋め込みや埋め込みが必要がなくなった例の建設が可能
 3. 地中深く埋込するため、地震・風・雪に強い

自給自足型「こみせ」再生

自給自足型「こみせ」再生



ランドマーク



青森県黒石市の「こみせ」はこみせ通りに沿って並んでいます。この地域に人を集客するには一つの中心的なランドマークともいえる建物が必要になってくると思います。

私はこみせの中に大きな空室があるのにきずきました。ここにこみせにかんする資料や材料などを展示することができる資料館を提案します。

KY

黒石市立総合資料館



KY

黒石市立総合資料館

再生された「こみせ」の空間アイデア、活性化のアイデア

応募区分
[B]



写真1(写真1)



写真2(写真2)

【B再生部門:失われた「こみせ」の再生によるストリートマネジメント】

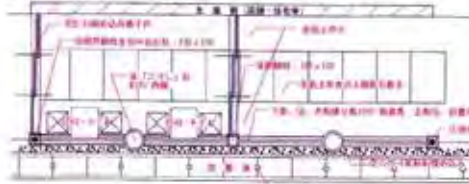


図1(写真3)

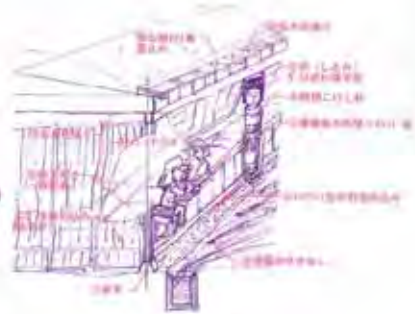


図1(写真4)断面図(写真4)

① ②失われた「こみせ」の再生(周辺の建築物や駐車場と調和した空間的アイデア)

失われた「こみせ」は、建物が倒壊し多く見られる「アーキテクト」に置き換わっている。(写真1)のよう
に、全長道路は別に、自給の前面に高々夏の日差しを遮り守る工夫が施された空間を創り出す
必要である。また、「アーキテクト」を歩き、高層の商業へ道路を自由に往來して、次第に車の交通量が増えた
結果は、縮小する人ばかりだ。
は、私生活の上半期にあった商業の「アーキテクト」の発展のよう、この「アーキテクト」は、全体的に調和が
失われつつある。(写真2)のよう、建物は失われつつあるが、この「アーキテクト」は、全体的に調和が失われつつある。
失われつつある「こみせ」は、(写真2)のよう、建物は失われつつあるが、この「アーキテクト」は、全体的に調和が失われつつある。
失われつつある「こみせ」は、(写真2)のよう、建物は失われつつあるが、この「アーキテクト」は、全体的に調和が失われつつある。

写真3

写真4

写真5

応募区分
[B]



写真1(写真1)

【B再生部門:失われた「こみせ」の再生によるストリートマネジメント】

① ②失われた「こみせ」の再生(周辺の建築物や駐車場と調和した空間的アイデア)
③再生された「こみせ」の維持管理及び収益性
④再生された「こみせ」空間を活用した活性化のアイデア

失われた「こみせ」は、建物が倒壊し多く見られる「アーキテクト」に置き換わっている。(写真1)のよう
に、全長道路は別に、自給の前面に高々夏の日差しを遮り守る工夫が施された空間を創り出す
必要である。また、「アーキテクト」を歩き、高層の商業へ道路を自由に往來して、次第に車の交通量が増えた
結果は、縮小する人ばかりだ。
は、私生活の上半期にあった商業の「アーキテクト」の発展のよう、この「アーキテクト」は、全体的に調和が
失われつつある。(写真2)のよう、建物は失われつつあるが、この「アーキテクト」は、全体的に調和が失われつつある。
失われつつある「こみせ」は、(写真2)のよう、建物は失われつつあるが、この「アーキテクト」は、全体的に調和が失われつつある。
失われつつある「こみせ」は、(写真2)のよう、建物は失われつつあるが、この「アーキテクト」は、全体的に調和が失われつつある。

③再生された「こみせ」の維持管理及び収益性
④再生された「こみせ」空間を活用した活性化のアイデア

「こみせ」の維持管理-収益性
再生された「こみせ」の維持管理は、再生の趣向に依って異なります。
その趣向は、自給の前面に高々夏の日差しを遮り守る工夫が施された空間を創り出す必要である。また、「アーキテクト」を歩き、高層の商業へ道路を自由に往來して、次第に車の交通量が増えた結果は、縮小する人ばかりだ。は、私生活の上半期にあった商業の「アーキテクト」の発展のよう、この「アーキテクト」は、全体的に調和が失われつつある。(写真2)のよう、建物は失われつつあるが、この「アーキテクト」は、全体的に調和が失われつつある。
失われつつある「こみせ」は、(写真2)のよう、建物は失われつつあるが、この「アーキテクト」は、全体的に調和が失われつつある。
失われつつある「こみせ」は、(写真2)のよう、建物は失われつつあるが、この「アーキテクト」は、全体的に調和が失われつつある。



図2(写真2)

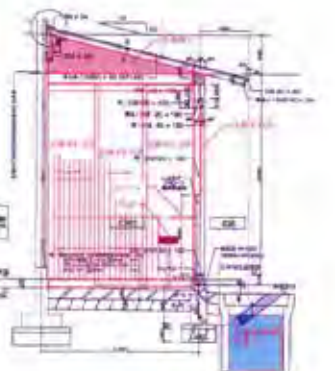


図3(写真3)

黒石 煌きの「こみせ」ストリート

こみせ再生計画

- 保存 補修 再生型
- 修葺 再生型
- 敷地暫定利用再生型
- 大規模新築再生型
- 中小規模新築再生型

黒石 煌きの「こみせ」ストリート

元町再生

横町再生

敷地の暫定利用
置かれた広場

中町再生
駐車場の入り口に

黒石「こみせ」再生提案競技

横町再生

横町再生

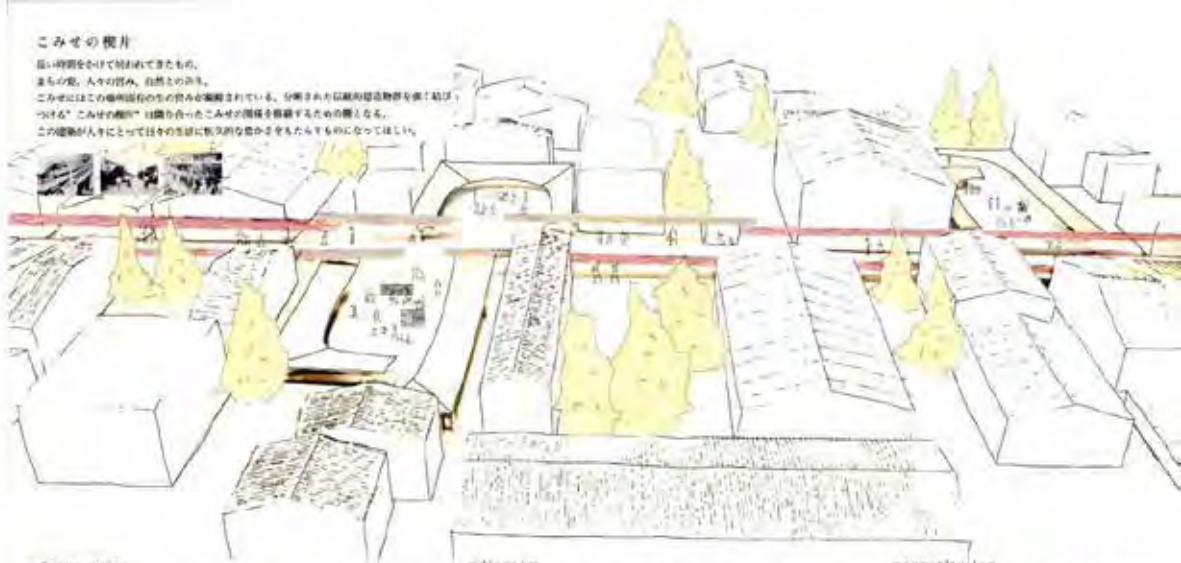
中町こみせ再生方針 観光客を中心とした集客効果をねらいとする

横町こみせ再生方針 市民の買い物利便性向上をねらいとする

こみせの楔片

こみせの楔片

古い時間をかけて形成されてきたもの、まろみ、人々の営み、自然との共生。こみせにはこの都市固有の生命が凝縮されている。分断された都市的運動を喚び、結び、つなぐ“こみせの楔片”は開き合ったこみせの関係を再編するための鍵となる。この楔片が人々にとって日々の生活に馴染みある存在となるための鍵になってほしい。



focus point

古い時間をかけて形成されてきたこみせには先人の智慧が詰まっている。かつてこのまちは様々な人々の営みによって形成され、人々の営みの関係がこみせという存在として現れた。それらを受け継ぎ、新たなつながりを創み込むことによってこれからこのまちは変わりたい。

旧時代の町並



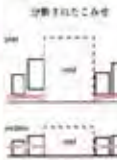
まろみの中心の広場（南詰側）



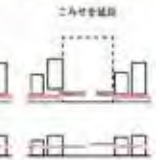
city diagram

高層のこみせを建設した未来の街は本来の町並みを再構築し、新たな街を創る。“こみせの楔片”はそれぞれのこみせをつなぐための媒介となる。形成する位置を個人と個人との関係は人々を受け入れるとともに、まちを導くための重要な役割を担う。

step1



step2



step3

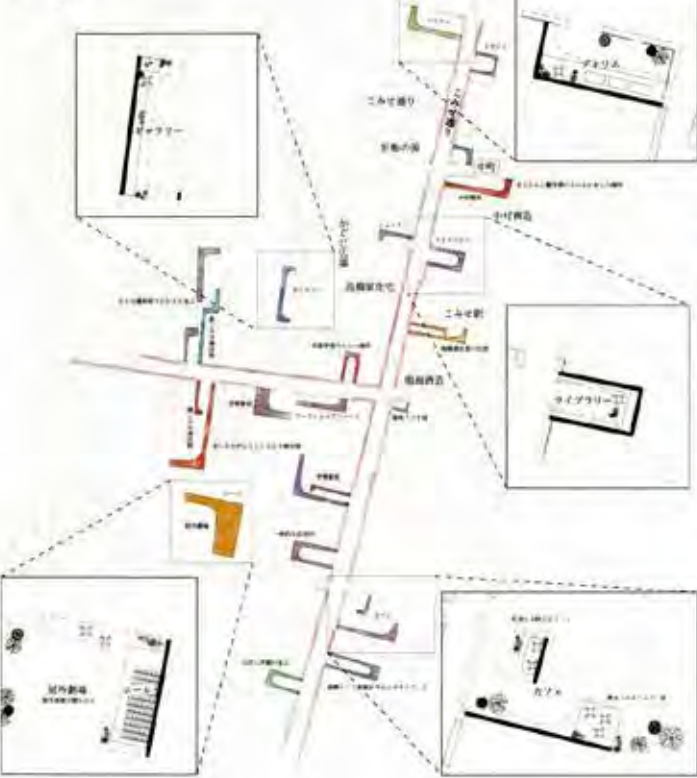


reconstruction

分断された都市に合わせた“こみせの楔片”を提案させる。それぞれの場所の機能に応じて多様な街の仕組みが生まれ、それはそのまま町並みの趣みきにつながりていく。



outline plan



こみせの楔片

“こみせ”は自然のものであって自然のものではない。そういって自然に似せた建築がこみせをより数しめるものへと変えられる。ひととつながりとなったこみせを創ることで、先人の街のこみせが生まれ、それはそれぞれが独自の方向によって多様な趣みを生み出し、まちの多様性につながる。

step1

まちの中心の楔片を創る



step2

機能に応じたこみせを創る



step3

つながりとなったこみせを創る



こみせの楔片

“こみせの楔片”は日々の生活に寄り添うものであり、様々なイベント時にも賑わい創ることができる。広場のような空間に人々の活動を受け入れる受け皿となり、歩行者としてのこみせに活動の自由をもたらし役割を果たす。それぞれのこみせは、様々な活動の可能性を創る。これからのまちの活動を支える。こみせと共にある様々な施設、日々の生活、時間的な、様々な時間、場所、人によってこみせが創られることによって、こみせはまちの人々によって創られることになる。

まちの人々の活動に誘惑する楔片としての



お祭り



お祭り



お祭り



お祭り



お祭り



お祭り



お祭り



こみせ かぐじ

「こみせ かぐじ」
—地域の賑わいを創出する—

こみせ かぐじ まちづくりマップ

臨時こみせ設置
既存こみせ設置
かぐじ店舗
商業施設
児童遊具

A-A 高×1:200
B-B 高×1:200

遊歩・サインベンチの複合システム

冬の空間構成
夏の空間構成

スケール: S=1:1500

こみせ かぐじ 見所マップ

しよみギャラリー
バスこみせ
かぐじ公園
サンルーム
かぐじ山
かぐじ池
児童遊具

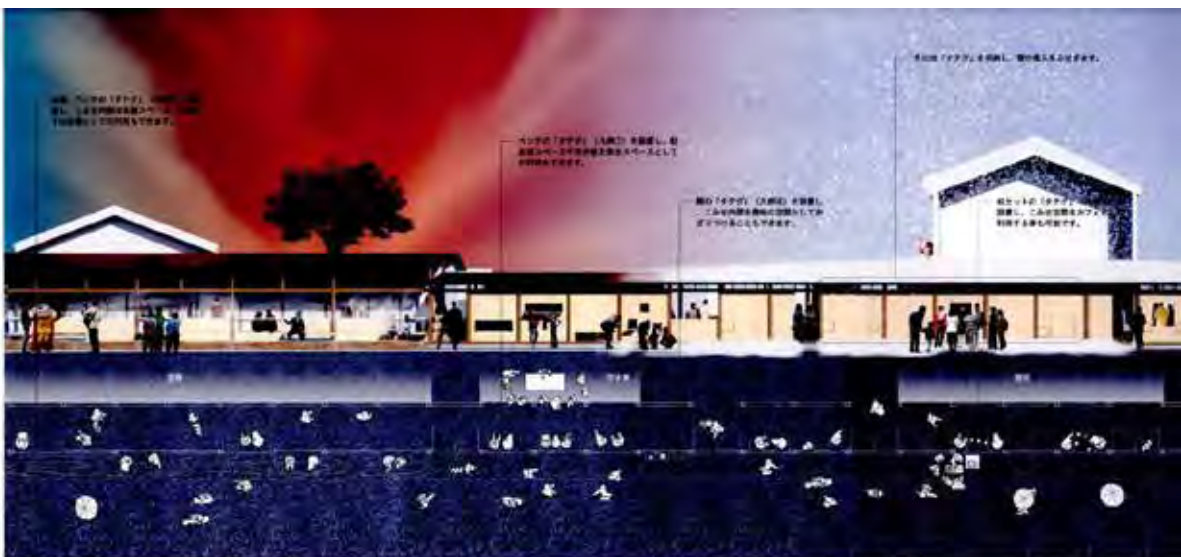
タテグで繋がる、いくつかの廊



空間アイデアの提案

こみせのしとみ戸閉めに設置された「タテグ」が新しい繋がりをつくります。柱とこみせをつなぎ、廊とこみせをつなぎ、駐車場とこみせをつなぎ、人とこみせをつなぎます。「タテグ」を動かすことでこみせがピンギになり、お店になり、集合スペースになり、まつりの場になります。冬の日は「タテグ」を閉じる事でこみせは雪をよけて本来の姿にもどります。四季により切り変わるこみせの景色が人の記憶に残る風景となります。伝統的なこみせの遊戯する空間を継承し、現代のこみせ空間として活かす道具「タテグ」を提案します。

「タテグ」はこみせを遊戯するための道具として、種にあつた種へながら変化します。ワークショップを行うことで、イラスト、模型など、こみせ空間の所有者とまちのニーズ合わせた形をつくられます。「タテグ」により、現代のこみせとして新たなまちをつくりたい。



ワークショップの提案

近頃、まちづくりのプロジェクトにおいて、設計者だけでなく住民のみなさんや関係者の方々の参加を促す動きが活発になってきています。既に聞かせる多くの人がこみせの将来像を共有することで、私的であるこみせの保存の課題や、建築や運営の面での課題、課題といった、多岐にわたる課題の解決だけでなく、このプロジェクトがこみせに属する人々のコミュニティツールとなり、まちの活性化に繋がるとともに、住民参加型のワークショップを用いた設計手法を提案します。



ワークショップの手法

【回数】
これまでにワークショップの回数、ある程度提案がまとまった段階の段階に、意見を聞くための回数が増えます。

【対象者】
関係者、行政、住民と立場の違う人たちがそれぞれ持っていることが多くなります。

【留意点】
意見不足やそもそも意見を聞き出し、意見を的に向けられることが課題になります。

【留意事項】
初期の段階から、参加にむけて準備をします。繰り返すことで、多くの気づきを得ることができます。

【留意事項】
様々な人たちに集まっているため、同じグループを組みます。システムなどの専門的な知識だけでなく、関係者の意見を全員が共有できるように配慮を行います。

ワークショップの進行

まず、伝統的形態のこみせ所有者に所有地のこみせ空間を遊戯に利用したいだけでなく、設計者が伝統的形態に合わせた「タテグ」をワークショップでの意見交換を行った上で設計します。また、「タテグ」を遊戯する事で、構造上の課題になるようなシステムも付随することでこみせの保存を検討しています。

その「タテグ」をこみせ所有者に提案します。

こみせの遊戯してしまった部分等の再生は基本的に伝統的こみせ形態の形状を継承し、「タテグ」の両い上げを共同所有の一部として利用することで、個人の負担が軽減できるシステムを提案します。

また、こみせ空間は一時的な滞在ができるシステムとします。「タテグ」は付随可能な形で様々な種類の「タテグ」をストックすることで様々な用途に対応した空間を提供する事ができます。



写真1-1:2F3F4F5F6F7F8F9F10F11F12F13F14F15F16F17F18F19F20F21F22F23F24F25F26F27F28F29F30F31F32F33F34F35F36F37F38F39F40F41F42F43F44F45F46F47F48F49F50F51F52F53F54F55F56F57F58F59F60F61F62F63F64F65F66F67F68F69F70F71F72F73F74F75F76F77F78F79F80F81F82F83F84F85F86F87F88F89F90F91F92F93F94F95F96F97F98F99F100F101F102F103F104F105F106F107F108F109F110F111F112F113F114F115F116F117F118F119F120F121F122F123F124F125F126F127F128F129F130F131F132F133F134F135F136F137F138F139F140F141F142F143F144F145F146F147F148F149F150F151F152F153F154F155F156F157F158F159F160F161F162F163F164F165F166F167F168F169F170F171F172F173F174F175F176F177F178F179F180F181F182F183F184F185F186F187F188F189F190F191F192F193F194F195F196F197F198F199F200F201F202F203F204F205F206F207F208F209F210F211F212F213F214F215F216F217F218F219F220F221F222F223F224F225F226F227F228F229F230F231F232F233F234F235F236F237F238F239F240F241F242F243F244F245F246F247F248F249F250F251F252F253F254F255F256F257F258F259F260F261F262F263F264F265F266F267F268F269F270F271F272F273F274F275F276F277F278F279F280F281F282F283F284F285F286F287F288F289F290F291F292F293F294F295F296F297F298F299F300F301F302F303F304F305F306F307F308F309F310F311F312F313F314F315F316F317F318F319F320F321F322F323F324F325F326F327F328F329F330F331F332F333F334F335F336F337F338F339F340F341F342F343F344F345F346F347F348F349F350F351F352F353F354F355F356F357F358F359F360F361F362F363F364F365F366F367F368F369F370F371F372F373F374F375F376F377F378F379F380F381F382F383F384F385F386F387F388F389F390F391F392F393F394F395F396F397F398F399F400F401F402F403F404F405F406F407F408F409F410F411F412F413F414F415F416F417F418F419F420F421F422F423F424F425F426F427F428F429F430F431F432F433F434F435F436F437F438F439F440F441F442F443F444F445F446F447F448F449F450F451F452F453F454F455F456F457F458F459F460F461F462F463F464F465F466F467F468F469F470F471F472F473F474F475F476F477F478F479F480F481F482F483F484F485F486F487F488F489F490F491F492F493F494F495F496F497F498F499F500F501F502F503F504F505F506F507F508F509F510F511F512F513F514F515F516F517F518F519F520F521F522F523F524F525F526F527F528F529F530F531F532F533F534F535F536F537F538F539F540F541F542F543F544F545F546F547F548F549F550F551F552F553F554F555F556F557F558F559F560F561F562F563F564F565F566F567F568F569F570F571F572F573F574F575F576F577F578F579F580F581F582F583F584F585F586F587F588F589F590F591F592F593F594F595F596F597F598F599F600F601F602F603F604F605F606F607F608F609F610F611F612F613F614F615F616F617F618F619F620F621F622F623F624F625F626F627F628F629F630F631F632F633F634F635F636F637F638F639F640F641F642F643F644F645F646F647F648F649F650F651F652F653F654F655F656F657F658F659F660F661F662F663F664F665F666F667F668F669F670F671F672F673F674F675F676F677F678F679F680F681F682F683F684F685F686F687F688F689F690F691F692F693F694F695F696F697F698F699F700F701F702F703F704F705F706F707F708F709F710F711F712F713F714F715F716F717F718F719F720F721F722F723F724F725F726F727F728F729F730F731F732F733F734F735F736F737F738F739F740F741F742F743F744F745F746F747F748F749F750F751F752F753F754F755F756F757F758F759F760F761F762F763F764F765F766F767F768F769F770F771F772F773F774F775F776F777F778F779F780F781F782F783F784F785F786F787F788F789F790F791F792F793F794F795F796F797F798F799F800F801F802F803F804F805F806F807F808F809F810F811F812F813F814F815F816F817F818F819F820F821F822F823F824F825F826F827F828F829F830F831F832F833F834F835F836F837F838F839F840F841F842F843F844F845F846F847F848F849F850F851F852F853F854F855F856F857F858F859F860F861F862F863F864F865F866F867F868F869F870F871F872F873F874F875F876F877F878F879F880F881F882F883F884F885F886F887F888F889F890F891F892F893F894F895F896F897F898F899F900F901F902F903F904F905F906F907F908F909F910F911F912F913F914F915F916F917F918F919F920F921F922F923F924F925F926F927F928F929F930F931F932F933F934F935F936F937F938F939F940F941F942F943F944F945F946F947F948F949F950F951F952F953F954F955F956F957F958F959F960F961F962F963F964F965F966F967F968F969F970F971F972F973F974F975F976F977F978F979F980F981F982F983F984F985F986F987F988F989F990F991F992F993F994F995F996F997F998F999F1000

テーマ 支える未来

こみせの風情と支える未来

真作こみせ商店では、作民の手によるガイドラインが制定され、中野おまが商店がリニューアルしながら、店舗・事業所・住宅などのオープン化が地域の活性化に貢献していくと想われます。顧客層によって、にぎやかなが住家の風情とならぬことで風情が形成され、その収益がこみせを支えるとも考えられます。

こみせでは <空間的アイデア・活性化・収益・マネージメント>

- 1. 真作こみせは、開店を定めておきおまがの空間に、真作こみせでは、販路マップ、販路広場の収益、おまがの行動パターンで、おまがのまちである風情を担う
- 2. 前段しよみ戸は、イベントの告知・その他で利用
- 3. 一時的に利用できるスペースを確保
- 4. ストップオーバーによる収益
- 5. クーポン付フリーペーパーを発行し集客のための情報発信

※オープン化、おまがのまちの活性化が真作こみせからして、まち全体で支えるようになっていく

写真1-1:2F3F4F5F6F7F8F9F10F11F12F13F14F15F16F17F18F19F20F21F22F23F24F25F26F27F28F29F30F31F32F33F34F35F36F37F38F39F40F41F42F43F44F45F46F47F48F49F50F51F52F53F54F55F56F57F58F59F60F61F62F63F64F65F66F67F68F69F70F71F72F73F74F75F76F77F78F79F80F81F82F83F84F85F86F87F88F89F90F91F92F93F94F95F96F97F98F99F100

写真1-1:2F3F4F5F6F7F8F9F10F11F12F13F14F15F16F17F18F19F20F21F22F23F24F25F26F27F28F29F30F31F32F33F34F35F36F37F38F39F40F41F42F43F44F45F46F47F48F49F50F51F52F53F54F55F56F57F58F59F60F61F62F63F64F65F66F67F68F69F70F71F72F73F74F75F76F77F78F79F80F81F82F83F84F85F86F87F88F89F90F91F92F93F94F95F96F97F98F99F100

写真1-1:2F3F4F5F6F7F8F9F10F11F12F13F14F15F16F17F18F19F20F21F22F23F24F25F26F27F28F29F30F31F32F33F34F35F36F37F38F39F40F41F42F43F44F45F46F47F48F49F50F51F52F53F54F55F56F57F58F59F60F61F62F63F64F65F66F67F68F69F70F71F72F73F74F75F76F77F78F79F80F81F82F83F84F85F86F87F88F89F90F91F92F93F94F95F96F97F98F99F100

写真1-1:2F3F4F5F6F7F8F9F10F11F12F13F14F15F16F17F18F19F20F21F22F23F24F25F26F27F28F29F30F31F32F33F34F35F36F37F38F39F40F41F42F43F44F45F46F47F48F49F50F51F52F53F54F55F56F57F58F59F60F61F62F63F64F65F66F67F68F69F70F71F72F73F74F75F76F77F78F79F80F81F82F83F84F85F86F87F88F89F90F91F92F93F94F95F96F97F98F99F100

写真1-1:2F3F4F5F6F7F8F9F10F11F12F13F14F15F16F17F18F19F20F21F22F23F24F25F26F27F28F29F30F31F32F33F34F35F36F37F38F39F40F41F42F43F44F45F46F47F48F49F50F51F52F53F54F55F56F57F58F59F60F61F62F63F64F65F66F67F68F69F70F71F72F73F74F75F76F77F78F79F80F81F82F83F84F85F86F87F88F89F90F91F92F93F94F95F96F97F98F99F100

写真1-1:2F3F4F5F6F7F8F9F10F11F12F13F14F15F16F17F18F19F20F21F22F23F24F25F26F27F28F29F30F31F32F33F34F35F36F37F38F39F40F41F42F43F44F45F46F47F48F49F50F51F52F53F54F55F56F57F58F59F60F61F62F63F64F65F66F67F68F69F70F71F72F73F74F75F76F77F78F79F80F81F82F83F84F85F86F87F88F89F90F91F92F93F94F95F96F97F98F99F100

写真1-1:2F3F4F5F6F7F8F9F10F11F12F13F14F15F16F17F18F19F20F21F22F23F24F25F26F27F28F29F30F31F32F33F34F35F36F37F38F39F40F41F42F43F44F45F46F47F48F49F50F51F52F53F54F55F56F57F58F59F60F61F62F63F64F65F66F67F68F69F70F71F72F73F74F75F76F77F78F79F80F81F82F83F84F85F86F87F88F89F90F91F92F93F94F95F96F97F98F99F100

写真1-1:2F3F4F5F6F7F8F9F10F11F12F13F14F15F16F17F18F19F20F21F22F23F24F25F26F27F28F29F30F31F32F33F34F35F36F37F38F39F40F41F42F43F44F45F46F47F48F49F50F51F52F53F54F55F56F57F58F59F60F61F62F63F64F65F66F67F68F69F70F71F72F73F74F75F76F77F78F79F80F81F82F83F84F85F86F87F88F89F90F91F92F93F94F95F96F97F98F99F100

写真1-1:2F3F4F5F6F7F8F9F10F11F12F13F14F15F16F17F18F19F20F21F22F23F24F25F26F27F28F29F30F31F32F33F34F35F36F37F38F39F40F41F42F43F44F45F46F47F48F49F50F51F52F53F54F55F56F57F58F59F60F61F62F63F64F65F66F67F68F69F70F71F72F73F74F75F76F77F78F79F80F81F82F83F84F85F86F87F88F89F90F91F92F93F94F95F96F97F98F99F100

写真1-1:2F3F4F5F6F7F8F9F10F11F12F13F14F15F16F17F18F19F20F21F22F23F24F25F26F27F28F29F30F31F32F33F34F35F36F37F38F39F40F41F42F43F44F45F46F47F48F49F50F51F52F53F54F55F56F57F58F59F60F61F62F63F64F65F66F67F68F69F70F71F72F73F74F75F76F77F78F79F80F81F82F83F84F85F86F87F88F89F90F91F92F93F94F95F96F97F98F99F100

写真1-1:2F3F4F5F6F7F8F9F10F11F12F13F14F15F16F17F18F19F20F21F22F23F24F25F26F27F28F29F30F31F32F33F34F35F36F37F38F39F40F41F42F43F44F45F46F47F48F49F50F51F52F53F54F55F56F57F58F59F60F61F62F63F64F65F66F67F68F69F70F71F72F73F74F75F76F77F78F79F80F81F82F83F84F85F86F87F88F89F90F91F92F93F94F95F96F97F98F99F100

写真1-1:2F3F4F5F6F7F8F9F10F11F12F13F14F15F16F17F18F19F20F21F22F23F24F25F26F27F28F29F30F31F32F33F34F35F36F37F38F39F40F41F42F43F44F45F46F47F48F49F50F51F52F53F54F55F56F57F58F59F60F61F62F63F64F65F66F67F68F69F70F71F72F73F74F75F76F77F78F79F80F81F82F83F84F85F86F87F88F89F90F91F92F93F94F95F96F97F98F99F100

写真1-1:2F3F4F5F6F7F8F9F10F11F12F13F14F15F16F17F18F19F20F21F22F23F24F25F26F27F28F29F30F31F32F33F34F35F36F37F38F39F40F41F42F43F44F45F46F47F48F49F50F51F52F53F54F55F56F57F58F59F60F61F62F63F64F65F66F67F68F69F70F71F72F73F74F75F76F77F78F79F80F81F82F83F84F85F86F87F88F89F90F91F92F93F94F95F96F97F98F99F100

写真1-1:2F3F4F5F6F7F8F9F10F11F12F13F14F15F16F17F18F19F20F21F22F23F24F25F26F27F28F29F30F31F32F33F34F35F36F37F38F39F40F41F42F43F44F45F46F47F48F49F50F51F52F53F54F55F56F57F58F59F60F61F62F63F64F65F66F67F68F69F70F71F72F73F74F75F76F77F78F79F80F81F82F83F84F85F86F87F88F89F90F91F92F93F94F95F96F97F98F99F100

写真1-1:2F3F4F5F6F7F8F9F10F11F12F13F14F15F16F17F18F19F20F21F22F23F24F25F26F27F28F29F30F31F32F33F34F35F36F37F38F39F40F41F42F43F44F45F46F47F48F49F50F51F52F53F54F55F56F57F58F59F60F61F62F63F64F65F66F67F68F69F70F71F72F73F74F75F76F77F78F79F80F81F82F83F84F85F86F87F88F89F90F91F92F93F94F95F96F97F98F99F100

写真1-1:2F3F4F5F6F7F8F9F10F11F12F13F14F15F16F17F18F19F20F21F22F23F24F25F26F27F28F29F30F31F32F33F34F35F36F37F38F39F40F41F42F43F44F45F46F47F48F49F50F51F52F53F54F55F56F57F58F59F60F61F62F63F64F65F66F67F68F69F70F71F72F73F74F75F76F77F78F79F80F81F82F83F84F85F86F87F88F89F90F91F92F93F94F95F96F97F98F99F100

写真1-1:2F3F4F5F6F7F8F9F10F11F12F13F14F15F16F17F18F19F20F21F22F23F24F25F26F27F28F29F30F31F32F33F34F35F36F37F38F39F40F41F42F43F44F45F46F47F48F49F50F51F52F53F54F55F56F57F58F59F60F61F62F63F64F65F66F67F68F69F70F71F72F73F74F75F76F77F78F79F80F81F82F83F84F85F86F87F88F89F90F91F92F93F94F95F96F97F98F99F100

写真1-1:2F3F4F5F6F7F8F9F10F11F12F13F14F15F16F17F18F19F20F21F22F23F24F25F26F27F28F29F30F31F32F33F34F35F36F37F38F39F40F41F42F43F44F45F46F47F48F49F50F51F52F53F54F55F56F57F58F59F60F61F62F63F64F65F66F67F68F69F70F71F72F73F74F75F76F77F78F79F80F81F82F83F84F85F86F87F88F89F90F91F92F93F94F95F96F97F98F99F100

写真1-1:2F3F4F5F6F7F8F9F10F11F12F13F14F15F16F17F18F19F20F21F22F23F24F25F26F27F28F29F30F31F32F33F34F35F36F37F38F39F40F41F42F43F44F45F46F47F48F49F50F51F52F53F54F55F56F57F58F59F60F61F62F63F64F65F66F67F68F69F70F71F72F73F74F75F76F77F78F79F80F81F82F83F84F85F86F87F88F89F90F91F92F93F94F95F96F97F98F99F100

写真1-1:2F3F4F5F6F7F8F9F10F11F12F13F14F15F16F17F18F19F20F21F22F23F24F25F26F27F28F29F30F31F32F33F34F35F36F37F38F39F40F41F42F43F44F45F46F47F48F49F50F51F52F53F54F55F56F57F58F59F60F61F62F63F64F65F66F67F68F69F70F71F72F73F74F75F76F77F78F79F80F81F82F83F84F85F86F87F88F89F90F91F92F93F94F95F96F97F98F99F100

写真1-1:2F3F4F5F6F7F8F9F10F11F12F13F14F15F16F17F18F19F20F21F22F23F24F25F26F27F28F29F30F31F32F33F34F35F36F37F38F39F40F41F42F43F44F45F46F47F48F49F50F51F52F53F54F55F56F57F58F59F60F61F62F63F64F65F66F67F68F69F70F71F72F73F74F75F76F77F78F79F80F81F82F83F84F85F86F87F88F89F90F91F92F93F94F95F96F97F98F99F100

写真1-1:2F3F4F5F6F7F8F9F10F11F12F13F14F15F16F17F18F19F20F21F22F23F24F25F26F27F28F29F30F31F32F33F34F35F36F37F38F39F40F41F42F43F44F45F46F47F48F49F50F51F52F53F54F55F56F57F58F59F60F61F62F63F64F65F66F67F68F69F70F71F72F73F74F75F76F77F78F79F80F81F82F83F84F85F86F87F88F89F90F91F92F93F94F95F96F97F98F99F100

写真1-1:2F3F4F5F6F7F8F9F10F11F12F13F14F15F16F17F18F19F20F21F22F23F24F25F26F27F28F29F30F31F32F33F34F35F36F37F38F39F40F41F42F43F44F45F46F47F48F49F50F51F52F53F54F55F56F57F58F59F60F61F62F63F64F65F66F67F68F69F70F71F72F73F74F75F76F77F78F79F80F81F82F83F84F85F86F87F88F89F90F91F92F93F94F95F96F97F98F99F100

写真1-1:2F3F4F5F6F7F8F9F10F11F12F13F14F15F16F17F18F19F20F21F22F23F24F25F26F27F28F29F30F31F32F33F34F35F36F37F38F39F40F41F42F43F44F45F46F47F48F49F50F51F52F53F54F55F56F57F58F59F60F61F62F63F64F65F66F67F68F69F70F71F72F73F74F75F76F77F78F79F80F81F82F83F84F85F86F87F88F89F90F91F92F93F94F95F96F97F98F99F100

黒石市「こみせ」再生提案競技 優秀作品提案説明会 アンケート

こみせ再生提案競技説明会にご参加いただいた皆さまにアンケートの記入をお願いします。
該当する記号を○で囲んでください。

I. 「中町」のこみせ再生について伺います。

問1 提案にありましたこみせ空間の活用について、取り組んでもよいと思うもの全てに「○」を付けて下さい。

1. さつなぎを活用した飾り（花、暖簾等）
2. ベンチ
3. 雪見あんどん
4. その他（)
5. 取り組んでもよいと思うものはなかった

問2 提案にありましたこみせ及び車道の一部を歩行者空間として活用することについて、取り組んでもよいと思うもの全てに「○」を付けて下さい。

1. 歩行者空間だけを確保する
2. 歩行者空間を確保し、時折イベントとして活用する
3. 歩行者空間を確保し、常設のイベントとして活用する
4. 歩行者空間を確保し、ベンチを置く
5. その他（)
6. 取り組んでもよいと思うものはなかった

II. 「前町・横町」のこみせ再生について伺います。

問3 前町・横町で再生するこみせは、どのような形態が望ましいと考えますか。1つ選んで下さい。

1. 中町にあるような伝統的な形態・デザインとすべきである。
2. 伝統的な形態・デザインではなくてよいが、通りとしてある程度は統一したデザインとすべきである。
3. 通りとしての統一感は必要がなく、こみせと建築物のデザインが調和していればよい。
4. こみせのデザインはバラバラでよい。
5. その他（)
6. わからない

問4 前町・横町のこみせ再生の進め方について、最も早く取り組むべき事項を1つ選んで下さい。（伝統的な形態でないこみせを含みます）

1. 空き地や駐車場から再生する。
2. 現存するこみせ（伝統的でないものを含む）を修景する。
3. こみせが設置されていない建物で再生する。
4. 全ての敷地で一斉に再生する。
5. その他（)
6. わからない

[裏面もあります]

Ⅲ. こみせの再生方法について伺います。

問5 こみせを再生するためには、どのような整備方法がよいと思いますか。1つ選んで下さい。

1. 所有者が100%負担して整備する。
2. 行政等が100%負担して整備する。
3. 所有者と行政等がバランス良く負担して整備する。
4. 所有者、行政等、まちづくりファンドにより整備する。
5. その他 ()
6. わからない

問6 まちづくりファンドが設立された場合、どのようなものに活用すべきだと考えますか。

活用すべきと思うもの全てに「○」を付けて下さい。

1. 現存するこみせ（伝統的でないものを含む）の修景、修理や失われたこみせの再生費用の一部を補助する。
2. こみせに限らず、伝統的建築物の修景や修理費用の一部を補助する。
3. （伝統的建築物に準じた）建築物の新築費の一部を補助する。
4. まちづくり活動費の一部を補助する。
5. その他 ()
6. わからない

Ⅳ. こみせの再生の実現に向けた課題や提案競技結果についてご自由にお書き下さい。

--

Ⅴ. あなた自身のことについてお答えください。

性別	1. 男 2. 女
年齢	1. 40歳未満 2. 40歳台 3. 50歳台 4. 60歳台 5. 70歳以上
職業	1. 商工・自営業 2. 会社員 3. 公務員 4. 無職・その他
こみせの所有状況	1. 伝統的な形態のこみせを所有している 2. 伝統的な形態ではないが所有している 3. 所有していない
住所	1. 中町 2. 前町 3. 横町 4. その他
氏名	(差し支えなければご氏名をご記入下さい)

ご協力、ありがとうございました。

■黒石市「こみせ」再生提案競技 提案作品に関するヒアリングシート

I. 「中町」のこみせ再生について伺います。	
問1	提案にありましたこみせ空間の活用について、取り組んでもよいと思うもの全てを選択してください。
1.	さつなぎを活用した飾り（花、暖簾等）
2.	ベンチ
3.	雪見あんどん
4.	その他（ ）
5.	取り組んでもよいと思うものはなかった
問2	提案にありましたこみせ及び車道の一部を歩行者空間として活用することについて、取り組んでもよいと思うもの全てを選択してください。
1.	歩行者空間だけを確保する
2.	歩行者空間を確保し、時折イベントとして活用する
3.	歩行者空間を確保し、常設のイベントとして活用する
4.	歩行者空間を確保し、ベンチを置く
5.	その他（ ）
6.	取り組んでもよいと思うものはなかった
II. 「前町・横町」のこみせ再生について伺います。	
問3	前町・横町で再生するこみせは、どのような形態が望ましいと考えますか。一つ選んで下さい。
1.	中町にあるような伝統的な形態・デザインとすべきである。
2.	伝統的な形態・デザインではなくてよいが、通りとしてある程度は統一したデザインとすべきである。
3.	通りとしての統一感は必要がなく、こみせと建築物のデザインが調和していればよい。
4.	こみせのデザインはバラバラでよい。
5.	その他（ ）
6.	わからない
問4	前町・横町のこみせ再生の進め方について、最も早く取り組むべき事項を1つ選んで下さい。 (伝統的な形態でないこみせを含みます)
1.	空き地や駐車場から再生する。
2.	現存するこみせ（伝統的でないものを含む）を修景する。
3.	こみせが設置されていない建物で再生する。
4.	全ての敷地で一斉に再生する。
5.	その他（ ）
6.	わからない

Ⅲ. こみせの再生方法について伺います。

問5 「こみせ」再生提案競技では、こみせの再生および維持管理を目的とした収益利用のアイデアを募りました。提案されたアイデアは大きく以下に分類されます。収益利用として取り組んでよいと思うもの全てを選択してください。

1. こみせの柱の間を利用した広告（しとみの利用、新しいタイプのしとみの提案、のれん広告など）
2. こみせ空間の壁面（建物側）を利用した広告
3. こみせ空間を利用した定期的市場（農産物等の直販など）やカフェ（喫茶）としての活用
4. こみせ通りの車道の端を利用した定期的市場やカフェとしての活用（中町、参考：問2）
5. 空き店舗への店舗誘致、レンタルスペースとしての貸し出し（特に横町）
6. 空き地等の定期的な市場（無人販売所など）としての活用（同上）
7. なし

問6 収益利用の可能性、あるいは課題についてお考えをお聞かせ下さい。※車との共存など

問7 こみせを再生するためには、どのような整備方法がよいと思いますか。1つ選んで下さい。

1. 所有者が100%負担して整備する。
2. 行政等が100%負担して整備する。
3. 所有者と行政等がバランス良く負担して整備する。
4. 所有者、行政等、まちづくりファンドにより整備する。
5. その他（ ）
6. わからない

問8 まちづくりファンドが設立された場合、どのようなものに活用すべきだと考えますか。活用すべきと思うもの全てを選択してください。

1. 現存するこみせ（伝統的でないものを含む）の修景、修理や失われたこみせの再生費用の一部を補助する。
2. こみせに限らず、伝統的建築物の修景や修理費用の一部を補助する。
3. （伝統的建築物に準じた）建築物の新築費の一部を補助する。
4. まちづくり活動費の一部を補助する。
5. その他（ ）
6. わからない

Ⅳ. まちづくりについて伺います。

問9 ご自身がまちづくりに参加される場合、どのような参加が可能だと思いますか。すでに参加されているものも含め、可能であるもの全てを選択してください。

1. 地域や学校の活動（清掃活動、ねふた灯籠づくりなど）への参加
2. まちづくり団体や市が行っているまちづくりイベント（まち歩き等）への参加
3. まちづくりの活動を行っている団体自体への参加
4. まちづくりファンド（基金）への出資
5. その他（ ）

黒石市景観シンポジウム アンケート

黒石市景観シンポジウムにご参加いただいた皆さまにアンケートの記入をお願いします。
該当する記号を○で囲んでください。

I. 景観づくりについて伺います。

問1 黒石の景観の特性や魅力は何でしょうか。 3つまで選んで下さい。

1. 八甲田山・山並みの景観
2. 水田やりんご畑などの田園の景観
3. 浅瀬石川等の水辺の景観
4. 岩木山への眺め
5. 中町の歴史的なまち並み
6. 消防屯所などの歴史的な建造物
7. 黒石温泉郷の景観
8. 黒石ねぷたや黒石よされ、地域の伝統行事
9. 住宅地や集落のまち並み
10. 生け垣等の身近な緑
11. その他 ()

問2 今後の黒石の景観づくりで重要なことは何でしょうか。 2つまで選んで下さい。

1. 市民の景観づくりの意識向上を図るため、まち歩きや学習の機会を設ける。
2. 市民や企業が清掃活動や緑化の推進などの景観づくり活動を進める。
3. 地域の景観に調和しない建築物が立地しないように規制する。
4. 地域の景観と調和した公共施設を整備する。
5. 黒石らしい景観資産（建築物や祭礼、歴史・文化等）を保全する。
6. 岩木山への眺めを保全する。
7. まちなか（景観づくり推進地区）でこみせの再生や景観づくりを進める。
8. その他 ()

II. こみせ再生提案競技の結果を踏まえ、「前町・横町」のこみせ再生について伺います。

問3 前町・横町で再生するこみせは、どのような形態が望ましいと考えますか。 1つ選んで下さい。

1. 中町にあるような伝統的な形態・デザインとすべきである。
2. 伝統的な形態・デザインではなくてよいが、通りとしてある程度は統一したデザインとすべきである。
3. 通りとしての統一感は必要がなく、こみせと建築物のデザインが調和していればよい。
4. こみせのデザインはバラバラでよい。
5. その他 ()
6. わからない

問4 前町・横町のこみせ再生の進め方について、最も早く取り組むべき事項を 1つ選んで下さい。（伝統的な形態でないこみせを含みます）

1. 空き地や駐車場から再生する。
2. 現存するこみせ（伝統的でないものを含む）を修景する。
3. こみせが設置されていない建物で再生する。
4. 全ての敷地で一斉に再生する。
5. その他 ()
6. わからない

[裏面もあります]

Ⅲ. こみせの再生方法等について伺います。

問5 今後、松の湯や金平成園の再生を契機に、中町のこみせ再生にあわせ、前町や横町のこみせを再生することについてどう思いますか。1つ選んで下さい。

1. まちなかの活性化にはこみせ再生は重要であるため、積極的に推進するべきである。
2. 所有者の意向を踏まえながら慎重に進めるべきである。
3. こみせ再生の必要性は低い。
4. その他 ()
5. わからない

問6 こみせを再生するためには、どのような整備方法がよいと思いますか。1つ選んで下さい。

1. 所有者が100%負担して整備する。
2. 行政等が100%負担して整備する。
3. 所有者と行政等がバランス良く負担して整備する。
4. 所有者、行政等、まちづくりファンドにより整備する。
5. その他 ()
6. わからない

Ⅳ. まちづくりへの参加についてお答えください。

問7 ご自身がまちづくりに参加される場合、どのような参加が可能だと思いますか。

すでに参加されているものも含め、可能であるもの全てに「○」を付けて下さい。

1. 地域や学校の活動（清掃活動、ねぷた灯籠づくりなど）への参加
2. まちづくり団体や市が行っているまちづくりイベント（まち歩き等）への参加
3. まちづくりの活動を行っている団体自体への参加
4. まちづくりファンド（基金）への出資
5. その他 ()
6. わからない

Ⅴ. 今後の黒石市の景観づくりや、こみせの再生等についてご自由にお書き下さい。

--

Ⅵ. あなた自身のことについてお答えください。

性別	1. 男 2. 女
年齢	1. 19歳以下 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳以上
住所	1. 黒石市内 2. 青森県内 3. 青森県外

※景観づくりのまち歩きやイベント等の開催案内を希望される方は、住所・氏名をご記入ください。

住所	(メールアドレス可)
氏名	

ご協力、ありがとうございました。

平成 25 年 9 月 28 日

黒石市「こみせ」再生提案競技
現地見学会開催要項

1. 目的 「こみせ」再生提案競技応募登録者の内、現地見学希望者を対象に、中町伝建地区およびその周辺地区（横町・前町）の現状を確認し、「こみせ」再生の提案に向けた課題への理解と、解決への考察を深める機会とすることを目的とする。
2. 主催 黒石市
3. 対象者 「こみせ」再生提案競技応募登録者の内、現地見学会参加希望者
4. 日時 平成 25 年 10 月 18 日（金）13 時 30 分開始（2 時間半程度）
（13 時より受付）
5. 対象地 黒石市中町、横町、前町の各地区
（集合場所：かぐじ広場）
6. 内容 まち歩き（解説）及び質疑応答
7. 運営概要 （別紙）
8. 事務局 建設部建設課都市計画係

(別紙)

黒石市「こみせ」再生提案競技 現地見学会 運営概要

1. 案内の送付	<ul style="list-style-type: none">・参加希望の意向は、「応募登録申込書」の記載欄(参加 or 不参加)にて確認する。【建設課】・希望者への現地見学会の案内は、上記申込書を受け取り次第、随時送付する(登録番号発行と同時に)。【建設課】
2. 当日受付	<ul style="list-style-type: none">・13時～13時30分まで。集合場所(かぐじ広場)にて。(準備)・受付名簿(1部)、提案競技資料1～5(人数分)【建設課】・県外からの見学者への対応:要検討【建設課】
3. まち歩き	<p>①かぐじ広場→(理右衛門小路よりこみせ通り)→②こみせ通り→③旧松の湯(外より)→(伝建地区北上)→(南下)→④高橋家→⑤鳴海家→⑥横町→(上町)→⑦金平成園→(市ノ町北上)→(横町を東へ)→⑧前町→(前町南下、山形町まで)→市役所(質疑応答:解散)／歩行時間50分、解説時間1時間10分(5. 解説のポイント参照)</p> <p>(準備)・まち歩きマップ(人数分)【建設課】</p> <ul style="list-style-type: none">・鳴海家、高橋家、金平成園への確認【文化課・建設課】
4. 当日体制 (各課1名)	<p>企画財政部企画課(市役所での質疑応答) 企画財政部財政課(同上) 農林商工部商工観光課(まち歩き同行+市役所での質疑応答) 教育委員会文化課(同上、②④⑤⑦解説)※〇付き番号:まち歩き 建設部建設課(同上、①②⑥⑧解説) ※参加希望者少数の場合、別途調整 協力:NPO法人まちづくりデザインサポート(③解説)</p>
5. 解説の ポイント	<p>①かぐじ広場:かぐじの説明、かぐじ広場の経緯説明、理右衛門小路の説明(5分) ②こみせ通り:伝建地区の説明(修理基準と修景基準等)、こみせの説明、こみせ標準図の説明【以上文化課】、失われたこみせの説明(背景・現状・展望)、通りの修景(電柱地中化等)【建設課】(15分) ③旧松の湯:経緯と今後の予定、こみせの復原について(5分) ④高橋家、⑤鳴海家:それぞれ概要説明。商家の形式、こみせと庭の関係等(各10分) ⑥横町:こみせの現状の説明(3箇所程度×各3分=10分)、金平成園への動線としての意味等 ⑦金平成園:概要と今後の予定。大石武学流庭園の説明(10分) ⑧前町:こみせの現状の説明(2箇所程度×各3分=5分)、中町からの連続性等 以上、まち歩き解説1時間10分(+歩行時間50分=2時間)</p> <ul style="list-style-type: none">・冬季のこみせ通りの様子(スライド)【建設課】(5分)・中心市街地活性化のための融資・助成制度の概略【商工観光課】(5分)・質疑応答(15分) 以上、市役所 約30分 <p>※高橋家は土間まで、鳴海家は中庭までが理想。また、こみせと庭の関係は見せたい(開放の依頼。できれば西谷家も)。</p> <p>(準備)庁内会場確保、冬季の写真【建設課】、解説に必要な配布書類の確認【各課】 +取りまとめ【建設課】</p>
6. その他	<ul style="list-style-type: none">・暴風雨時は中止。中止の判断は前日16時とし、17時までに希望者に連絡(電話→FAX or 電子メール)・見学会前後に参加者がまち歩きを行う可能性有り。鳴海さん、高橋さん他関係者に周知を行う。・歴史の分かる冊子が配布できないか(検討)。その他パンフレット等。

黒石市中町こみせ通りの概要

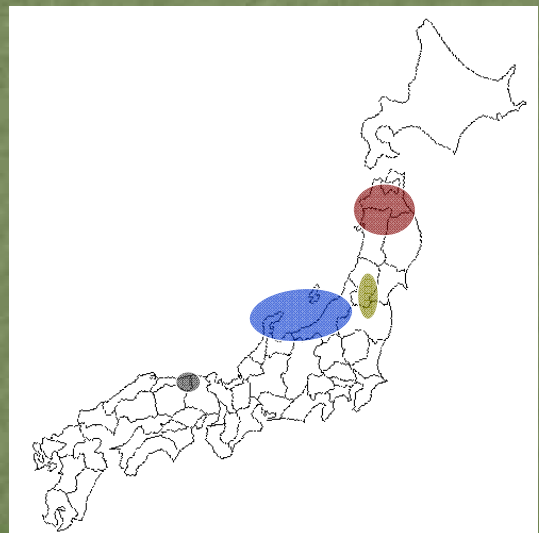


よみがえる古民家一緑草会編「民家図集」より

1. こみせと雁木

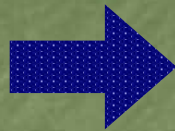
言葉の意味、発生及び存続の過程

- こみせ……青森県・秋田県
- 雁木……新潟県（長岡・高田）
- こまや……米沢
- かりや……鳥取県若桜町





小店
 小見世
 こもひ
 穩瀬・穩日



「こみせ」

冬の
こみせ通り



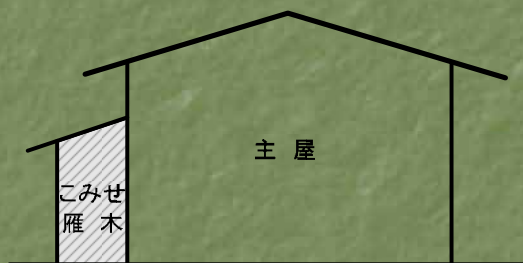
夏の
こみせ通り



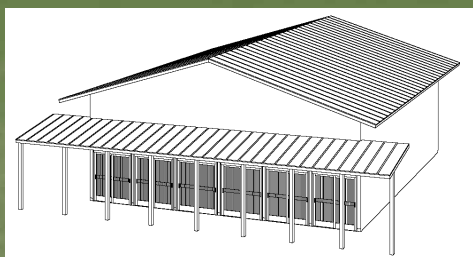
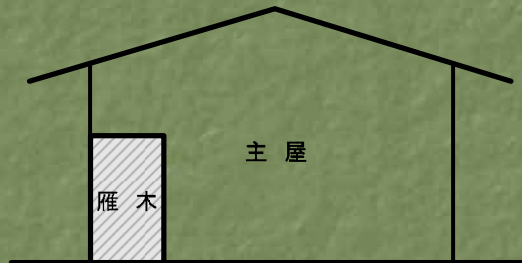
2. こみせの形

建築物の形式としてのこみせ

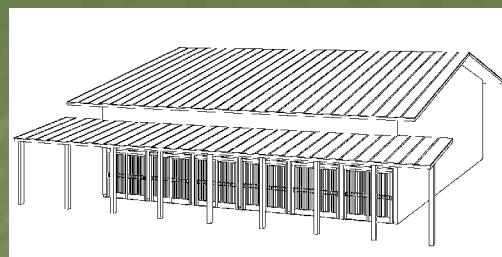
落とし式(こみせ・雁木)



造り込み式(雁木)



妻入り



平入り

妻入りと平入りが
混在した通り



(昭和58年撮影)



「しとみ」を入れたこみせ通り



上部ガラス下部板張り建具の例

入母屋屋根のあるこみせ通り

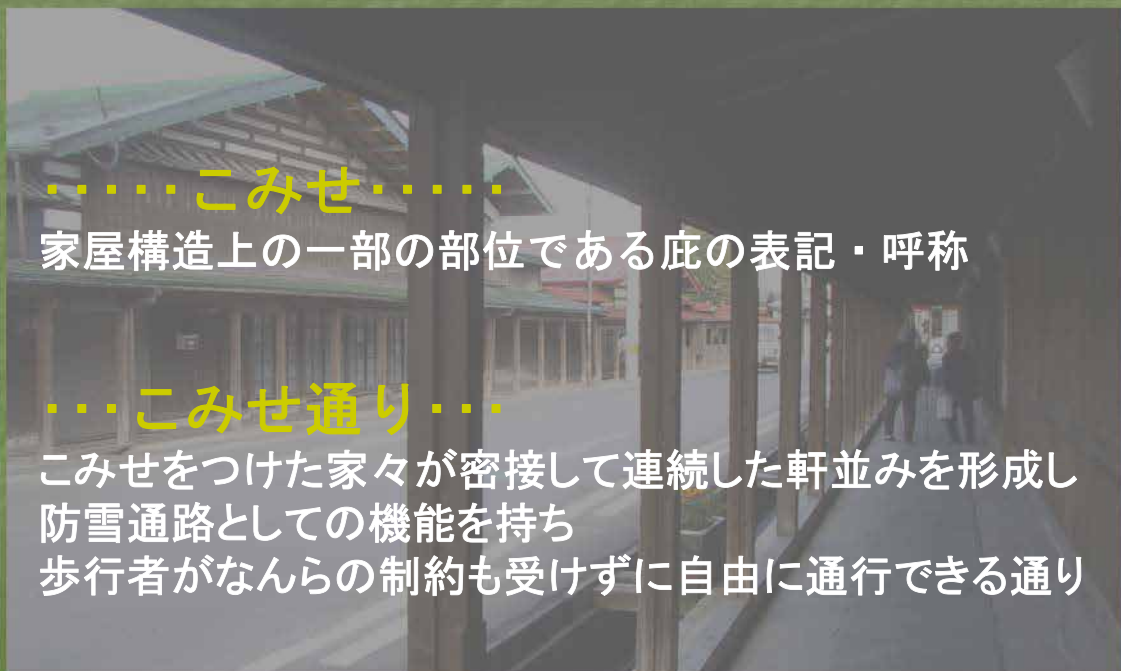


さつなぎ



3. こみせの空間

単体ではなく連続することによる
こみせ通りの意義



.....こみせ.....

家屋構造上の一部の部位である庇の表記・呼称

...こみせ通り...

こみせをつけた家々が密接して連続した軒並みを形成し
防雪通路としての機能を持ち
歩行者がなんらの制約も受けずに自由に通行できる通り

明暦2年(1656) 陣屋を築造

公儀地である道路上に
こみせを整備

明治6年(1873) 地租改正

こみせの土地が
黒石藩の保有地から私有地に

現 在

個人所有の建築物の一部
《本来は私的な内部空間》
こみせ通りとして連続することにより
中間領域として存続
《あいまいで、不思議な空間》

夏

日差しや雨から
守ってくれる

知人との挨拶・立ち話
子どもたちの遊び場

こみせ通り

冬

《商業の発展》
店舗の一部にすることになり
購買意欲をそそられる

雪を避けて通行できる
かけがえのない
歩行空間

昭和7年 前町大通り



昭和8年 前町を行く葬列



現在の前町の町並み



4. 中町こみせ通りの建物

伝統的建造物群としての敷地や町屋の特徴



中町の屋敷

東側15戸、西側15戸
合計 30戸

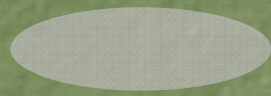
中町の建物

主屋32棟、付属屋38棟
合計 70棟

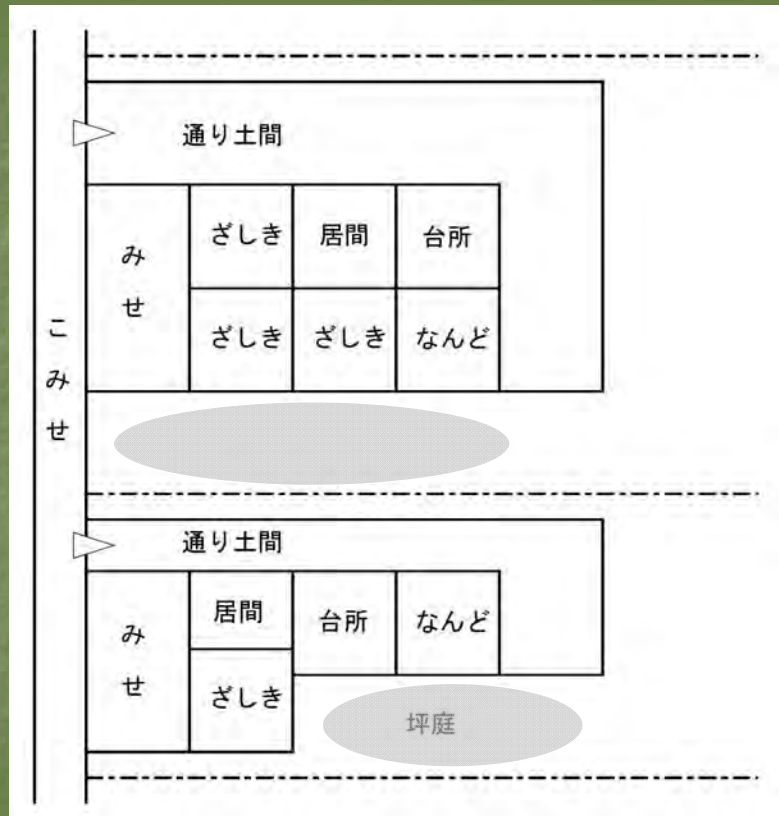
うち伝統的建造物42棟

主屋……10棟
作業場等…5棟
土蔵……27棟

黒石の商家の 平面類型



雪を溜めて置く場所



中村亀吉酒造店・通り土間



高橋家住宅・小屋組み





鳴海家住宅・仏間
(土蔵造)



松の湯
昭和7年撮影

5. こみせ通りの変容と現状



明治44年 中町
藩祖250年祭
開町250年祭

こみせや雁木が衰退した要因

- ① 火災で焼失。
そのあと、再建されなかった。
- ② 鉄道網が充実、街道交通が衰退。
人々が集まらなくなり、自然消滅した。
- ③ 流通機構の変化により、商店が閉店。
連続性がなくなり、加速度的に消滅していった。
- ④ 急速な車社会の発達。
道路の拡幅などにより、取り壊された。

中町の商店の業種

酒造業・呉服屋・仕出し店・銭湯・米屋など

長年住み続けている世帯が多い

共同体としての意識が高い
こみせに対する無意識の愛着

昭和50年	文化財保護法が改正 (伝統的建造物群が文化財の種別に加わった)
昭和58年	伝建群保存調査報告書「黒石の町並」刊行
昭和59年	建設省「日本の道 百選」に選定
昭和61年	建設省「手作り郷土賞」受賞
平成元年	市民有志、高層マンション建設予定地を買収
平成11年	黒石市中心市街地活性化基本計画の策定 まちづくりコンセプト「こみせを核にしたまちづくり」の設定
平成14年	伝建群保存調査報告書「黒石『こみせ』の町並み」刊行
平成14年	「こみせ保存会」発足

平成16年

黒石市歴史的景観保存条例を制定

平成17年




黒石市中町伝統的建造物群保存地区の決定

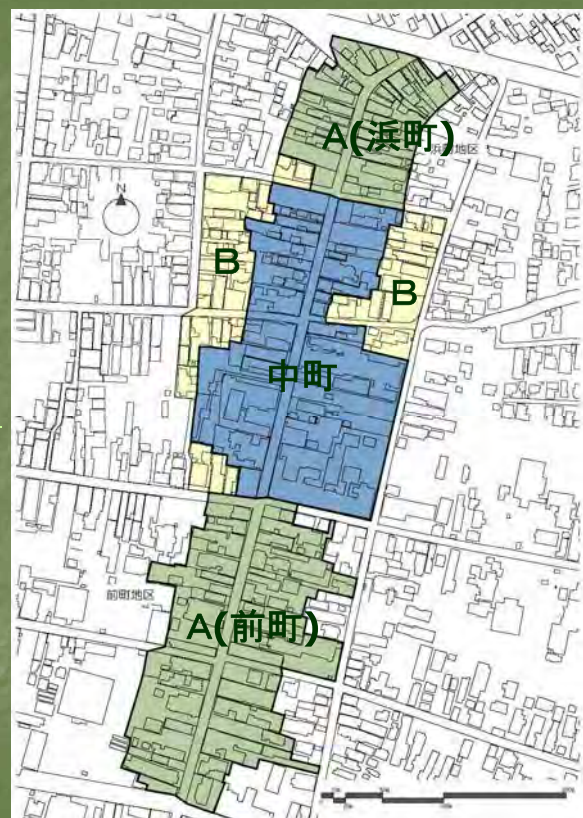
重要伝統的建造物群保存地区に選定

黒石市歴史的景観形成地区の決定

【重要伝統的建造物群保存地区：選定基準】

- (1) 伝統的建造物群が全体として意匠的に優秀なもの
- (2) 伝統的建造物群及び地割がよく旧態を保持しているもの
- (3) 伝統的建造物群及びその周囲の環境が地域的特色を顕著に示しているもの

	伝統的建造物群保存地区の範囲	約3.1ha
	歴史的景観形成地区Aの範囲	浜町地区・・・約1.3ha 前町地区・・・約2.9ha
	歴史的景観形成地区Bの範囲	約1.5ha



5. 重伝建地区の修理修景事業

●建物を保存する（修理事業）

中町こみせ通りの特性をよく表している伝統的な建物を、「保存計画」に基づき、正しく保存していくこと。

●景観を復原する（修景事業）

江戸時代から続いている「こみせ」が連なる町並みとして調和のとれた歴史的景観を復原していくこと。

●防災の備えをかためる

木造の建築物が密集する中町地区の防災面での整備を進めること。

歴史的な町並みを構成するもの

伝統的建造物

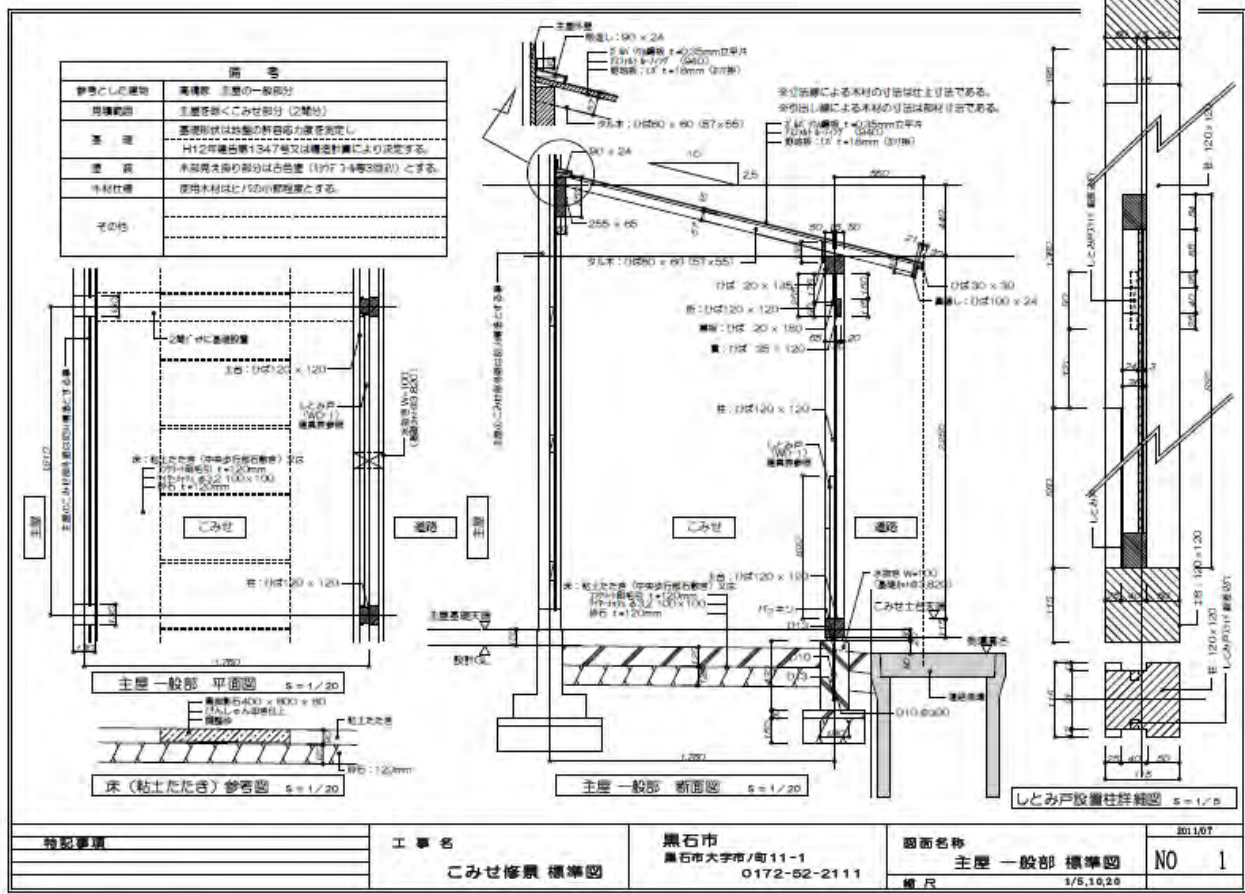
—古い時代に建てられた貴重な建物、門や塀などの工作物—

修理（補助対象）
個々の建造物の調査結果に基づいて、出来るだけ元の姿に復原する。
《修理基準》

その他の建物

—新築の建物、一般既存建物—

修景（補助対象）
中町こみせ通りにふさわしい外観にして、歴史的な町並みを保存する。
《修景基準》



無電柱化関連事業スケジュール

平成26年度

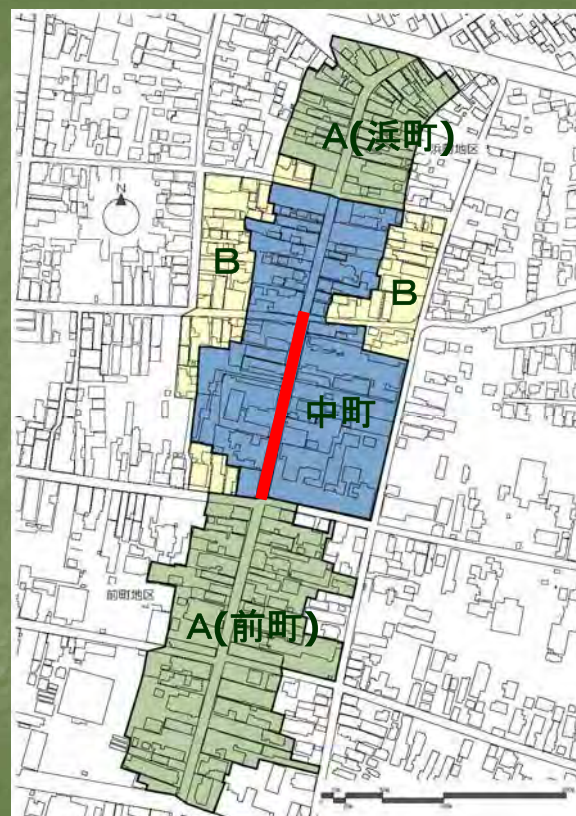
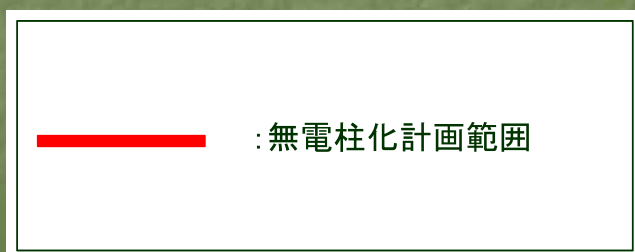
無電中化工事に関連した老朽管更新

平成27年から28年度

管路埋設

平成29年度以降（予定）

電線移設・道路仕上げ



冬のこみせ









平成25年度 中心市街地活性化に資する融資・助成制度

補助制度名	趣旨・目的	条件等	補助対象者	補助金額	備考
黒石市商店街空き店舗 出店促進事業 (黒石市商店街空き店 舗出店促進事業要綱)	中心市街地のにぎわい を取り戻すと共に市街 地の活性化を図る。	横町、中町、前町、市ノ町、上 町、一番町の商店街組合地域 で、概ね2か月以上空き店舗で あること。	対象地域の空き店舗に新規に出 店する小売業者、サービス業等と し、日中に営業を行うもので商店 街組合又は商店会に加入してい ること。	出店に要する賃借料(敷金、権利 金、紹介手数料は除く)で、月額 10万円を限度とし、開店日より6 か月以内とする。(限度額に満た ない場合は賃借料相当額)	開店より1年経過 後、審査会で認定 された後、交付。
黒石市商業近代化店舗 改造等資金貸付 (黒石市商業近代化店 舗改造等資金貸付要 綱)	店舗の新築、改築等 を行う事業者に対し、低利 貸付することにより、商 店街の活性化を図る。	限度：一事業主1,000万円 以内 期間：15年以内の返済 6か月以内据置 返済：元金均等月賦償還 (繰上償還可能) 利率：一般貸付2.3% 協会保証1.8% ※保証人1名(必要に応じ 要担保)	横町、中町、前町、市ノ町、上 町、一番町、山形町、元町、浜町 の地域内で店舗の新築、改造等 を行う事業主(※こみせ・アー ケード等の公開空地を確保)	・貸付利率の内、市が1.0%の利 子補給 ・利子補給の期間は、貸付日から 5年以内	金融機関からの 申請により2回 に分割して交付
黒石市商店街等整備促 進補助金 (黒石市商店街等整備 促進補助金要綱)	中小企業者が組織する 団体等が実施する商店 街の環境整備等に対す る補助金の交付。	補助対象事業に着手する年度 の、前年度の10月31日までに、 事業計画書及び収支予算書を 提出しなければならない。(市 長が特に認めた場合は、この限 りではない。)	(1) 市内に主たる事務所を有し、 資本又は出資の総額及び加入者 数のうち市内中小企業者の割合 が3分の2以上である団体 (2) 商店街の活性化に資すると市 長が認める団体	・中小企業等協同組合法等の規 定する組合等を組織した場合、5 万円に組合員数に2千円を乗じ て得た額を加算。 ・中小企業基盤整備機構法の規 定に基づく資金の貸付を受けて 商店街等の近代化に寄与する事 業には、貸付対象事業費の100 分の5以内(3年を限度とし分割交 付) ・国、県等から補助金を受けな い で実施する施設の整備に関する 補助金は、対象事業費の100分 の20以内(市長が認めた時100分 の20以内の上乗せ)	

黒石市「こみせ」再生提案競技

審査

2013.11.24

黒石市

応募部門について

- A. 保全修理部門
:現存する「こみせ」による歴史的町並みのストリートマネジメント

- B. 再生部門
:失われた「こみせ」の再生によるストリートマネジメント

応募部門について

■A. 保全修理部門

: 現存する「こみせ」による歴史的町並みのストリートマネジメント

(1) 基本事項

- ①「こみせ」空間を活用した**活性化のアイデア**を提案して下さい。(必須)
- ②「こみせ」の維持管理に使用できる**収益利用**を提案して下さい。(任意)
- ③「こみせ」の持続的保全のための**マネジメント手法**を提案して下さい。(任意)
- ④「こみせ」の保全修理に関わる**技術や知識の共有**に関して、参考事例等を用いて提案して下さい。(任意)
- ⑤①の単独、あるいは①及び②～④の複合的提案とし、関わる主体(所有者、自治体、民間企業、コンサルタント、地元技術者等)の位置付けを可能な限り明確にした提案として下さい。

応募部門について

■A. 保全修理部門

: 現存する「こみせ」による歴史的町並みのストリートマネジメント

(2) 規模等

- ①「こみせ標準図」(資料4)を参考に、自由に設定してください。
- ②活性化や収益利用に関しては、「こみせ」の空間だけでなく、「こみせ」の接する**壁面(建物の外壁、庭の塀など)の活用**も考慮していただいて結構です。
- ③②に関し、重伝建地区内に現存する「こみせ」および、「こみせ」の接する建造物は、基本的に特定建造物に指定されているため、**外観の保存が原則**となっております。仮設的(一時的、取り外し可能)な提案として下さい。

(3) 対象地

- ・**重伝建地区(中町)**において、自由に設定して下さい。限られた場所における提案でも結構ですが、重伝建地区全体に広く汎用性のある提案をしていただくことを想定しております。

応募部門について

■B. 再生部門:失われた「こみせ」の再生によるストリートマネジメント

(1) 基本事項

- ①こみせの歴史的・風土的意味合いを継承しながら、失われた「こみせ」再生の空間的アイデアを提案して下さい。(必須)
- ②再生された「こみせ」空間を活用した活性化のアイデアを提案して下さい。(任意)
- ③再生された「こみせ」の維持管理に使用できる収益利用を提案して下さい。(任意)
- ④「こみせ」の再生のためのマネジメント手法を提案して下さい。(任意)
- ⑤①の単独、あるいは①及び②～④の複合的提案とし、関わる主体(所有者、自治体、民間企業、コンサルタント、地元技術者等)の位置付けを可能な限り明確にした提案として下さい

応募部門について

■B. 再生部門:失われた「こみせ」の再生によるストリートマネジメント

(2) 規模等

- ①「こみせ標準図」(資料4)を参考に、奥行き1,700mm程度、間口(スパン)1,900mm程度とし、スパン数は自由とします。提案意図を表現するために必要なスパン数(間口)を設定してください。
- ②形態、材料等は、「こみせ標準図」によらず、自由に設定して下さい。
※「基本計画業務」委託時に調整をお願いする場合があります。
- ③活性化や収益利用に関しては、「こみせ」の空間だけでなく、「こみせ」の接する壁面(建物の外壁、庭の塀など)の活用も考慮していただいて結構です。重伝建地区(中町)では、「こみせ」の接する建造物の外観保存が原則となりますが、重伝建地区外(横町、前町)においては、建造物の外観保存の必要はありませんので、壁面にショーウィンドウ空間程度の奥行きを考慮していただいてもかまいません。
- ④本提案競技は、空き地利用、空き店舗利用の提案を求める事を趣旨とはしておりませんが、マネジメント手法の提案要素にこれを含むことを除外するものではありません。ただし、その場合も、空き地や空き店舗と接する「こみせ」再生の空間的アイデア提案を前提とします。

応募部門について

■B. 再生部門:失われた「こみせ」の再生によるストリートマネジメント

(3) 対象地

- ・**重伝建地区(中町)および周辺地区(横町、前町)**が対象となりますが、特に具体的位置を特定しません。自由に想定していただいて結構です。また、対象地を特定せず、テーマに応じた広く汎用性のある提案でも結構です(例:駐車場等空地の場合など)。

優秀作品(応募者)の取り扱いについて

優秀作品(応募者)の取り扱いについて

■A. 保全修理部門

:現存する「こみせ」による歴史的町並みのストリートマネジメント

- (1) 平成25年12月9日に予定されている提案説明会にて、提案内容を発表していただく場合があります。原則的には、市による「こみせ」所有者を含む地域住民、建築およびまちづくり等の専門家へのヒアリングを行う予定です。
- (2) 優秀作品の応募者には、賞状および副賞として本市特産品5千円分を贈呈します。
- (3) 平成26年1月18日(土)に予定されている市民公開景観シンポジウムにて、提案内容を発表していただきます。優秀作品の応募者には、シンポジウム参加謝費として1万円をお支払いします(シンポジウムに参加いただけない場合はお支払いできません)。
- (4) (3)の市民公開景観シンポジウムでは、市民アンケートを実施します。優秀作品の応募者には、(1)のヒアリングおよびこのアンケート結果を踏まえて、提案内容を調整していただく場合があります。調整を行っていただいた場合、提案調整費用として3万円をお支払いします(調整不要または応募者に起因する理由により調整が不可能の場合はお支払いできません)。基本的には、提案調整を前提としておりますことを、予めご了承ください。

優秀作品(応募者)の取り扱いについて

■B. 再生部門:失われた「こみせ」の再生によるストリートマネジメント

- (1) 平成25年12月上旬に予定されている提案説明会にて、提案内容を発表していただく場合があります。原則的には、市による「こみせ」再生候補地所有者を含む地域住民、建築およびまちづくり等の専門家へのヒアリングを行う予定です。
- (2) 優秀作品の応募者には、賞状および副賞として本市特産品5千円分を贈呈します。さらに「基本計画業務」として15万円前後の業務委託を行います。「基本計画業務」では、提案内容に応じて、適した箇所を調査し(現地調査:平成25年12月上旬)、所有者に対するヒアリングを行った上(ヒアリングは市が実施)、「こみせ」設置個所を具体化し、詳細を検討した設計を行うものとします。なお、この「基本計画業務」は、その後の「実施設計業務」を前提とするものではありません。
- (3) 「基本計画業務」に関して、応募者に起因する理由により提案の詳細検討を履行できない場合、本市において基本計画業者を選定します。(例:応募者が建築士事務所登録をしていない個人・団などの場合、応募者が辞退した場合など)
- (4) 平成26年1月18日(土)に予定されている市民公開景観シンポジウムにて、提案内容を発表していただきます。優秀作品の応募者には、シンポジウム参加謝費として1万円をお支払いします(シンポジウムに参加いただけない場合はお支払いできません)。

審査の観点(主催者要望)

審査の観点(主催者要望)

【基本条件】

①重伝建地区内(中町)に現存するこみせの復原:

- ・「修理基準」(※1)→現状復原が原則。
- ・建築基準法緩和条例(※2)による緩和有。
- ・Max9割補助(限度額900万)。

②重伝建地区内(中町)にて再生するこみせ:

- ・「修景基準」(※1)→こみせ標準図に準じた再生を基本とし、発展的応用可。
- ・建築基準法緩和緩和条例による緩和有。
- ・Max8割補助(限度額800万)。

③景観形成地区(前町)にて復原または再生するこみせ:

- ・「修景基準」(※1)→こみせ標準図に準じた再生を基本とし、発展的応用可。
- ・建基法等遵守(緩和無)。
- ・Max8割補助(限度額240万)。

③上記以外(横町)にて復原または再生するこみせ:

- ・修景基準等無し
- ・建基法等遵守(緩和無)
- ・原則補助無(※3)。

(※1)黒石市中町伝統的建造物群保存地区保存計画

(※2)黒石市中町伝統的建造物群保存地区内における建築基準法の制限の緩和に関する条例

(※3)商店街等の組織での申請により、2割助成有(上限2000万)。個別(個人)への助成無。

審査の観点(主催者要望)

平成16年

黒石市歴史的景観保存条例を制定

平成17年




黒石市中町伝統的建造物群保存地区の決定

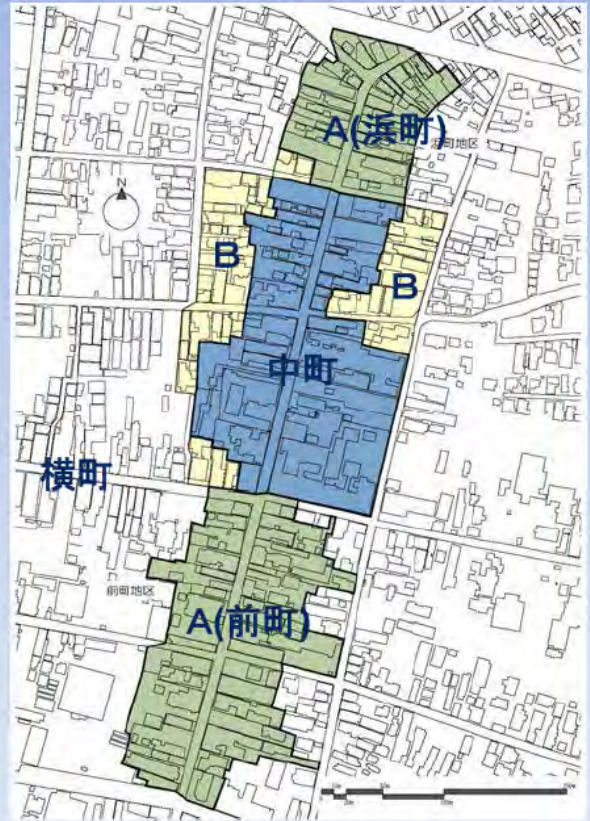
重要伝統的建造物群保存地区に選定

黒石市歴史的景観形成地区の決定

【重要伝統的建造物群保存地区：選定基準】

- (1) 伝統的建造物群が全体として意匠的に優秀なもの
- (2) 伝統的建造物群及び地割がよく旧態を保持しているもの
- (3) 伝統的建造物群及びその周囲の環境が地域的特色を顕著に示しているもの

	伝統的建造物群保存地区の範囲	約3.1ha
	歴史的景観形成地区Aの範囲	浜町地区・・・約1.3ha 前町地区・・・約2.9ha
	歴史的景観形成地区Bの範囲	約1.5ha



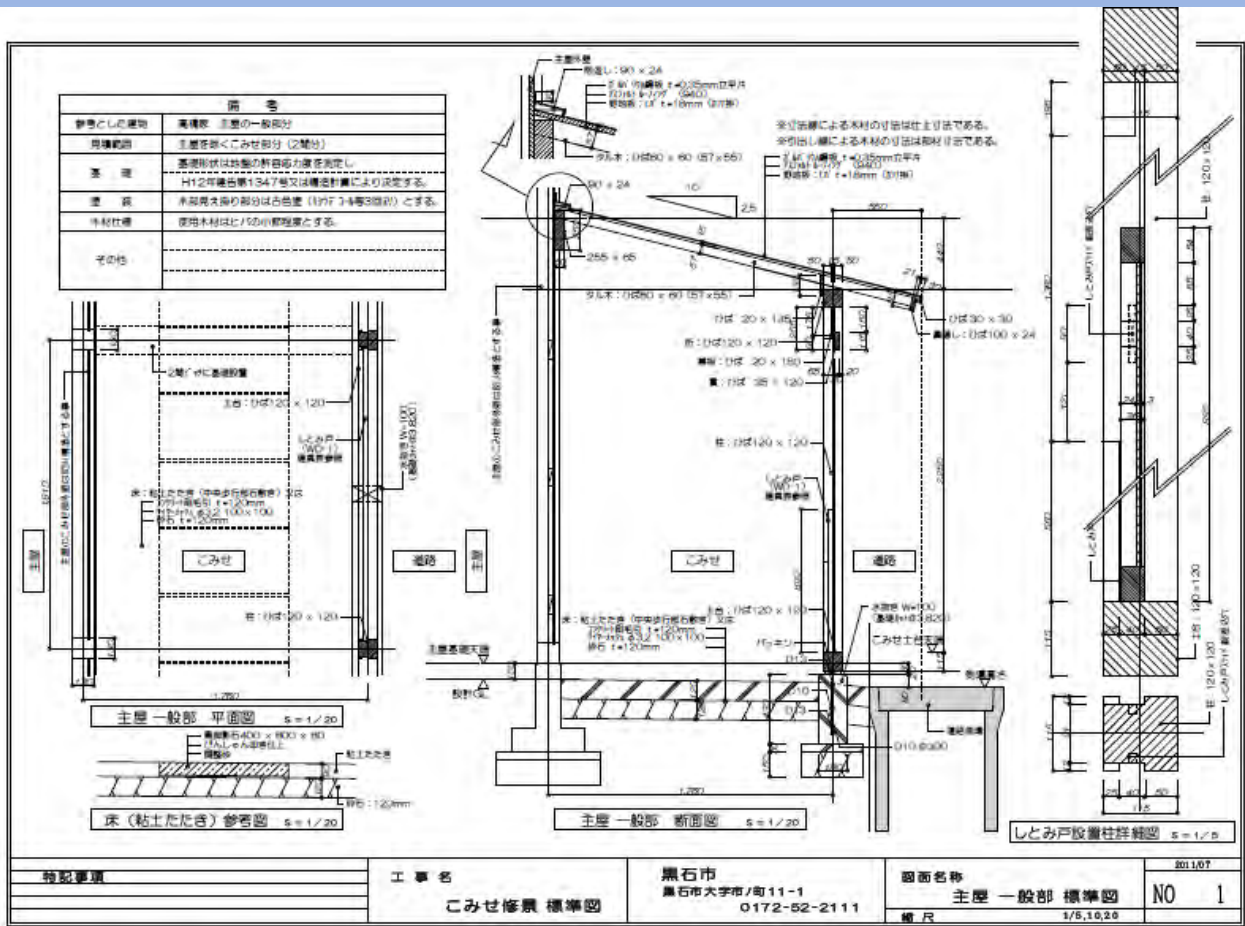
歴史的な町並みを構成するもの

伝統的建造物
—古い時代に建てられた貴重な建物、門や塀などの工作物—

その他の建物
—新築の建物、一般既存建物—

修理 (補助対象)
個々の建造物の調査結果に基づいて、出来るだけ元の姿に復原する。
《修理基準》

修景 (補助対象)
中町こみせ通りにふさわしい外観にして、歴史的な町並みを保存する。
《修景基準》



特記事項	工事名	黒石市 黒石市大字市/町11-1 0172-52-2111	図面名称	201107 主屋一般部 標準図 NO 1 縮尺 1/5,10,20
------	-----	-------------------------------------	------	--

伝統的建造物群保存地区における許可基準・修景基準・修理基準

	許可基準 歴史的風致と調和した外観を形成するための基準	修景基準 歴史的風致に積極的に資する外観を形成するための基準	修理基準 伝統的形態である外観を維持するための基準
位置	町並みとしての一体性と連続性を損なわないものとする。	道路に面した場合は、町並みの連続性を保つために、隣家の間に隙を設けず、敷地の形、規模、道路の位置等により異なる場合は、外観と同様の意匠を持つものを設置する。道路側壁面の位置は、周囲の伝統的建造物の壁面に合わせる。	(伝統的建造物に適用) 主としてその外観を維持するための、現状維持、補修工事又は復原修理とする。 (環境物件に適用) 歴史的風致を維持するための、現状維持、管理、復原とする。
高さ	原則として2階建て(最高の高さは9.5m)以下とする。	原則として2階建て(最高の高さは9.5m)以下とする。	
構造	歴史的風致と調和したものととする。	妻入又は平入りで、木造在来工法を継承したものとする。	
屋根	歴史的風致と調和したものととする。	切妻又は入母屋造りとする。伝統的建造物と調和する色調の鉄板葺きとし、屋根勾配は0.05～0.15の範囲で、周囲の伝統的建造物と調和するように配慮する。	
軒	歴史的風致と調和したものととする。	鉄板葺き又は瓦葺きを付け、軒天井は垂木・野地板を露出させる。木部に古色塗等を用い、周囲の伝統的建造物と調和させる。	
壁	歴史的風致と調和したものととする。	真壁又は真壁風とし、土壁、漆喰壁又は板張り(古色塗等)で仕上げを施す。	
建具	歴史的風致と調和したものととする。	望見できる部分は、木製板戸、木製ガラス戸、木製格子戸等を使用し、2階開口部にはさらに木製戸袋、木製持付格子を設けることを基本とする。	
車庫	歴史的風致と調和したものととする。	入口には、周囲の伝統的建造物と調和する色調の木製建具等を使用する。	
基礎	歴史的風致と調和したものととする。	コンクリート布基礎表面目地付き(石積風等、歴史的風致の特性に調和させる)とする。	
看板	歴史的風致と調和したものととする。	建築物本体の外観と調和した規模、構造、材料、色彩とし、自家用広告以外は設置しない。	
外部設備	歴史的風致と調和したものととする。	冷房用屋外機、電気引き込み等は、道路などから望見できないように配慮する。	

	許可基準 歴史的風致と調和した外観を形成するための基準	修景基準 歴史的風致に積極的に資する外観を形成するための基準	修理基準 伝統的形態である外観を維持するための基準
位置	町並みとしての一体性と連続性を損なわないものとする。	隣家のこみせとの連続性を保つように設置する。	原則として、現状維持又は復原修理とする。
高さ	歴史的風致と調和したものととする。	周囲の伝統的建造物に準ずるものとする。	
構造規模	歴史的風致と調和したものととする。	基本的に木造で、こみせ幅内法は100cm前後、道路側の柱柱古色塗等を施すの寸法は12cm角前後、柱間は180cm前後とする。いずれも、周囲の伝統的建造物と連続するように配慮する。	
屋根	歴史的風致と調和したものととする。	伝統的建造物と調和する色調の鉄板葺きとし、屋根勾配は周囲のこみせと連続するように配慮する。	
軒	歴史的風致と調和したものととする。	鼻縁板を付け、軒天井は垂木・野地板を露出させる。木部に古色塗等を用い、周囲のこみせと調和させる。軒の出は45cm前後を望ましい。	
建具	歴史的風致と調和したものととする。	伝統的な形式に近づけるために、冬季には扉戸を入れることを基本とする。	
基礎	歴史的風致と調和したものととする。	原則として、切石又は露石上に古色塗等を施した土台を敷く。	
床	歴史的風致と調和したものととする。	伝統的な工法として、粘土たたき、中央歩行部分は石敷きや畳まじい、コンクリートたたきでもよい。	
高さ	歴史的風致と調和したものととする。	周囲の伝統的建造物と調和したものとする。	原則として、現状維持又は復原修理とする。
形態	歴史的風致と調和したものととする。	板張りの塼とし、基礎、色調等は建築物本体と調和させる。	

		許可基準 歴史的風致と調和した外観を形成するための基準	修景基準 歴史的風致に積極的に資する外観を形成するための基準	修理基準 伝統的形態である外観を維持するための基準
こ み せ 部 分	位置	町並みとしての一体性と連続性を損なわないものとする。	隣家との連続性を保つように設置する。	原則として、現状維持又は復原修理とする。
	高さ	歴史的風致と調和したものとする。	周囲の伝統的建造物に準ずるものとする。	
	構造規模	歴史的風致と調和したものとする。	基本的に木造で、こみせ幅内法は160cm 前後、道路側の木柱古色塗等を施す寸法は12cm 角前後、柱間は180cm 前後とする。いずれも、周囲の伝統的建造物と連続するように配慮する。	
	屋根	歴史的風致と調和したものとする。	伝統的建造物と調和する色調の鉄板葺きとし、屋根勾配は周囲のこみせと連続するように配慮する。	
	軒	歴史的風致と調和したものとする。	鼻隠板を付け、軒天井は垂木・野地板を表しにする。木部に古色塗等を施し周囲のこみせと調和させる。軒の出は45cm 前後が望ましい。	
	建具	歴史的風致と調和したものとする。	伝統的な様式に近づけるために、冬季には藪戸を入れることを基本とする。	
	基礎	歴史的風致と調和したものとする。	原則として、切石又は礎石上に古色塗等を施した土台を敷く。	
	床	歴史的風致と調和したものとする。	伝統的な工法として、粘土たたき、中央歩行部分は石敷きが望ましいが、コンクリートたたきでもよい。	
塀	高さ	歴史的風致と調和したものとする。	周囲の伝統的建造物に調和したものとする。	原則として、現状維持又は復原修理とする。
	形態	歴史的風致と調和したものとする。	板張りの塀とし、基礎、色調等は建築物本体と調和させる。	

別表 1

歴史的景観形成地区 A における景観形成基準・修景基準

		景観形成基準 歴史的風致と調和した景観を形成するための基準	修景基準 歴史的風致と調和した外観を形成するための基準	
建 築 物 表 構 成 部 分	位置	町並みとしての一体性と連続性を著しく損なわないものとする。	町並みとしての一体性と連続性を損なわないものとする。	
	高さ	原則として2階建て（最高の高さは9.3m）以下とする。	原則として2階建て（最高の高さは9.3m）以下とする。	
	構造	歴史的風致を著しく損なわないものとする。	歴史的風致と調和したものとする。	
	屋根	歴史的風致を著しく損なわないものとする。	歴史的風致と調和したものとする。	
	軒	歴史的風致を著しく損なわないものとする。	歴史的風致と調和したものとする。	
	壁	歴史的風致を著しく損なわないものとする。	歴史的風致と調和したものとする。	
	建具	歴史的風致を著しく損なわないものとする。	歴史的風致と調和したものとする。	
	車庫	歴史的風致を著しく損なわないものとする。	歴史的風致と調和したものとする。	
	基礎	歴史的風致を著しく損なわないものとする。	歴史的風致と調和したものとする。	
	看板	歴史的風致を著しく損なわないものとする。	歴史的風致と調和したものとする。	
	こ み せ 部 分	位置	町並みとしての一体性と連続性を著しく損なわないものとする。	隣家のこみせとの連続性を保つように設置する。
	高さ	歴史的風致を著しく損なわないものとする。	周囲の伝統的建造物に準ずるものとする。	
構造規模	歴史的風致を著しく損なわないものとする。	可能な限り、周囲のこみせと連続するように配慮する。		
屋根	歴史的風致を著しく損なわないものとする。	伝統的建造物と調和する色調の鉄板葺きとし、屋根勾配は周囲のこみせと連続するように配慮する。		
軒	歴史的風致を著しく損なわないものとする。	可能な限り、周囲のこみせと調和するように配慮する。		
建具	歴史的風致を著しく損なわないものとする。	伝統的な様式に近づけるために、冬季には藪戸を入れることを基本とする。		
基礎	歴史的風致を著しく損なわないものとする。	原則として、切石又は礎石上に古色塗等を施した土台を敷く。		
床	歴史的風致を著しく損なわないものとする。	伝統的な様式として、粘土たたき、中央歩行部分は石敷きが望ましいが、コンクリートたたきでもよい。		

別表 2

歴史的景観形成地区 B における景観形成基準・修景基準

		景観形成基準 歴史的風致と調和した景観を形成するための基準	修景基準 歴史的風致と調和した外観を形成するための基準
建 築 物 表 構 成 部 分	位置	町並みとしての一体性と連続性を著しく損なわないものとする。	町並みとしての一体性と連続性を損なわないものとする。
	高さ	原則として2階建て（最高の高さは9.3m）以下とする。	原則として2階建て（最高の高さは9.3m）以下とする。
	構造	歴史的風致を著しく損なわないものとする。	歴史的風致と調和したものとする。
	屋根	歴史的風致を著しく損なわないものとする。	歴史的風致と調和したものとする。
	軒	歴史的風致を著しく損なわないものとする。	歴史的風致と調和したものとする。
	壁	歴史的風致を著しく損なわないものとする。	歴史的風致と調和したものとする。
	建具	歴史的風致を著しく損なわないものとする。	歴史的風致と調和したものとする。
	車庫	歴史的風致を著しく損なわないものとする。	歴史的風致と調和したものとする。
	基礎	歴史的風致を著しく損なわないものとする。	歴史的風致と調和したものとする。
	看板	歴史的風致を著しく損なわないものとする。	歴史的風致と調和したものとする。

構 え	建具	歴史的風致を著しく損なわないものとする。	歴史的風致と調和したものとする。
	車庫	歴史的風致を著しく損なわないものとする。	歴史的風致と調和したものとする。
	基礎	歴史的風致を著しく損なわないものとする。	歴史的風致と調和したものとする。
	看板	歴史的風致を著しく損なわないものとする。	歴史的風致と調和したものとする。
こ み せ 部 分	位置	町並みとしての一体性と連続性を著しく損なわないものとする。	隣家のごみせとの連続性を保つように設置する。
	高さ	歴史的風致を著しく損なわないものとする。	周囲の伝統的建造物に準ずるものとする。
	構造規模	歴史的風致を著しく損なわないものとする。	可能な限り、周囲のごみせと連続するように配慮する。
	屋根	歴史的風致を著しく損なわないものとする。	伝統的建造物と調和する色調の鉄板葺きとし、屋根勾配は周囲のごみせと連続するように配慮する。
	軒	歴史的風致を著しく損なわないものとする。	可能な限り、周囲のごみせと調和するように配慮する。
	建具	歴史的風致を著しく損なわないものとする。	伝統的な様式に近づけるために、冬季には蓐戸を入れることを基本とする。
	基礎	歴史的風致を著しく損なわないものとする。	原則として、切石又は礎石上に古色塗等を施した土台を敷く。
	床	歴史的風致を著しく損なわないものとする。	伝統的な様式として、粘土たたき、中央歩行部分は石敷きが望ましいが、コンクリートたたきでもよい。

5

審査の観点(主催者要望)

平成16年

黒石市歴史的景観保存条例を制定

平成17年




黒石市中町伝統的建造物群保存地区の決定

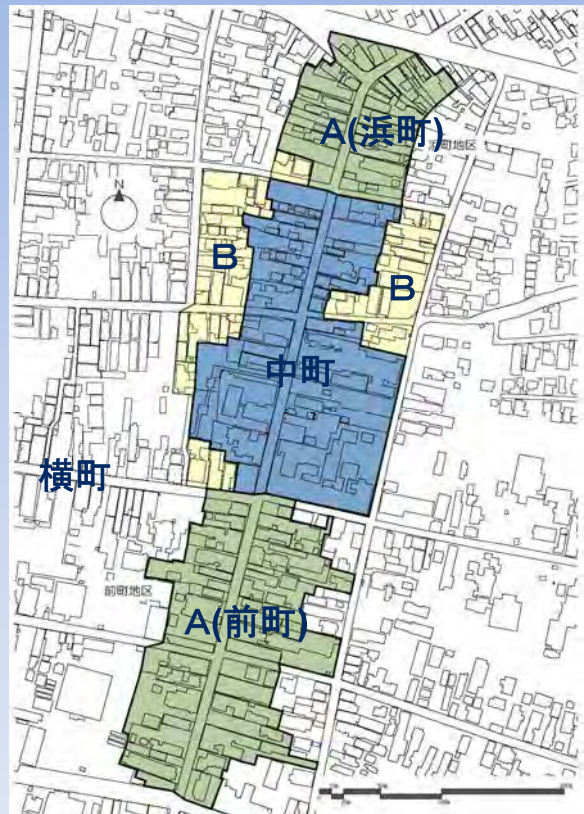
重要伝統的建造物群保存地区に選定

黒石市歴史的景観形成地区の決定

【重要伝統的建造物群保存地区：選定基準】

- (1) 伝統的建造物群が全体として意匠的に優秀なもの
- (2) 伝統的建造物群及び地割がよく旧態を保持しているもの
- (3) 伝統的建造物群及びその周囲の環境が地域的特色を顕著に示しているもの

	伝統的建造物群保存地区の範囲	約3.1ha
	歴史的景観形成地区Aの範囲	浜町地区・・・約1.3ha 前町地区・・・約2.9ha
	歴史的景観形成地区Bの範囲	約1.5ha



審査の観点(主催者要望)

【将来的可能性・実現性】

○こみせをつなげていく(延伸)可能性が見いだせるか(※4)

- ・周辺地区やかぐじ広場とのネットワークが図られる方向であること
- ・コスト面や維持管理面から過剰な負担がなく再生できること
- ・隣接敷地と段差を解消するなど、誰にとっても安全に通行できること

(※4)特に、

- ・短期的には中町におけるこみせの再生(連続性の確保)
- ・中長期的にはこみせ通り(中町)から横町を経て金平成園へ至る間の連続性の確保及び 中町から前町への連続性の確保 を目標としたい。

○通りの賑わいを創出・演出できる可能性が見出せるか

- ・こみせのイベント利用 ・通りのイベント利用への寄与等

○収益利用・マネジメントについて提案されているか。

- ・提案に実現性が見いだせるか。

審査の観点(主催者要望)

【景観への配慮】

○中町

- ・修景基準を守ること。
- ・空き地や駐車場においても景観が保持されること。

○横町、前町

- ・木造以外でも可。
- ・景観に配慮し、まち並みの基調となっている色彩・素材と調和していること
- ・前町においては、基本的には中町からの連続性を考慮したものとする一方、洋風建築や土蔵など建築の多様性に着眼した特殊解も評価したい(半屋内型等)。
- ・横町においては、伝統的形態とは異なる形態による連なりとする可能性も残したい(今後の議論の土俵に乗せたい)。
- ・こみせ空間の連続性や軒高が隣接しと協調されているか
- ・空き地や駐車場においても景観が保持されること。

審査の観点(主催者要望)

【祭り等への配慮】

- ねふた、よされなどの祭りが映えるように配慮されているか。
文化と融合しているか。
 - ・あんどんが設置できる、観客が祭礼を見れる、など

【冬期間の対策】

- 豪雪や凍結、近年の豪雨などに対応した構造になっているか。除排雪等の支障とならないか。

【市民参加】

- 市民がタウンマネジメントに参加できる仕組みになっているか。

審査方法(案)

①採点1:

- ・各審査員持ち点10点(以内)とする。
- ・1作品に対し最大3点までの配分で採点を行う。
- ・採点は採点票への記載にて行い、事務局が集計、採点結果を発表する。
採点の結果、上位6作品を優秀作品選定意見交換の対象作品とする。ただし、採点5位と6位、あるいは6位と7位の点数に大きな差がある場合、対象を5作品あるいは7作品とするなどの判断は、審査員協議に委ねるものとする。

②意見交換:

- 上記対象作品、下位から順に、作品に対する意見交換を行っていただく。
(議論の内容は、今後の「こみせ」再生への貴重な資料とし、記録を行う。)

③採点2:

- ・各審査員2作品を推薦。
- ・投票用紙に2作品の番号を記載し、事務局が集計、審査結果を発表する。
集計結果、上位3作品を優秀作品とする。ただし、2位と3位の得票数に大きな隔たりがある場合、優秀作品の対象を2作品に絞るなどの対応は、審査員協議に委ねるものとする。
また、3位の得票数が同数の場合、審査員長に決定権を委ねるものとする。

B部門 対象地確認

- ・B. 再生部門の優秀作品には、実際の敷地を想定した基本計画業務を委託する予定である。
- ・審査の結果を受けて、優秀3作品の基本計画の対象地の検討・確認を行う。



黒石市景観シンポジウム

プログラム

第1部

○基調講演

『黒石らしい景観づくり』

北原 啓司（弘前大学教育学部教授）

○活動報告

あずましい景観 専門家と巡るまち歩き

通り再生プログラム 子ども景観探偵団フォーラム事業等

○黒石市「こみせ」再生提案競技

優秀作品の発表・提案報告

第2部

○パネルディスカッション

『みんなで育てる くるいしの景観』

会場：スポカルイン黒石

〒036-0316 青森県黒石市くみの木三丁目 65 TEL 0172-53-8111

※どなたでもご参加いただけます。当日、会場に直接お越しください。

【お問い合わせ先】 黒石市建設部建設課都市計画係（黒石市庁舎2階）
 〒036-0396 青森県黒石市大字市ノ町 11 番地 1 号
 TEL：0172-52-2111（内線 229） FAX：0172-52-6191
 E-mail：toshikeikaku@city.kuroishi.aomori.jp

【主催】黒石市 【共催】青森県 【後援】黒石市教育委員会

平成26年 **1月18日**（土曜日）
 午後1時～4時30分

会場へのアクセス

スポカルイン黒石



入場
無料

■黒石市「こみせ再生」提案競技

全国から提案募集



T 036-0367
発行所 青森県黒石市黒石町
株式会社津軽新報社
編集 0172-221191
FAX 0172-221555
© 津軽新報社 2013

特別純米辛口酒
亀古
酒造元 中村亀吉
720ml 1,300円(税込)

きょうの天気
[9月25日]
晴色の曇り時々雨
黒石市の最高気温
[22日 0時~24時]
21.6度(平年並-1.0度)
[23日 0時~24時]
24.0度(平年並+2.2度)
黒石市の最低気温
[24日 0時~9時]
10.4度(平年並-1.8度)
日本気象協会 発表

保全修理・再生両部門 こみせにアイデアを

黒石市 10月11日まで応募登録受付

古い町並みを代表するこみせを守り、再生的風致維持向上推進等を目的として黒石市は、調査事業で「こみせ再



黒石市がこみせの保全修理・再生で全国からアイデアを募集

生提案競技を実施し、全国から幅広くアイデアを募集する。現時点で「こみせの保全修理部門」と「再生部門」の2部門に分けて、10月11日まで応募登録を受け付ける。

生提案競技を実施し、全国から幅広くアイデアを募集する。現時点で「こみせの保全修理部門」と「再生部門」の2部門に分けて、10月11日まで応募登録を受け付ける。重要伝統的建造物群保存地区である中町と、その周辺にある前町、横町を対象とする。重点地区では土蔵を含めての修理事業で伝統的建造物の保全が進み、特定建造物である旧松の湯再生を目指す修理事業にも着手。旧松の湯から菊乃井までの約1.5キロにわたる再生が検討課題だと、再生が検討課題だと

明このため募集する提案は、保存するこみせの保全修理し、失われたこみせの再生の両部門とする。

被害復旧に4億円

青森市 27日に補正追加提案

青森市は20日、台風18号による19日午前9時現在の被害状況を発した。

市は16日、浪岡地区1546世帯、4476人に避難勧告、避難指示を発令していた。この結果、浪岡地区では最大17人が避難した。ほか、岩手県内などで市民の自主避難があり、計16人が市民センターなどに避難した。

指定管理者

黒石市は、津軽伝承工芸館や津軽こみせ館など、指定管理事業を募集している。現地説明会は、津軽伝承工芸館、津軽こみ

25days 黒石市の天気

	06時	09時	12時	15時	18時	21時
天気	晴	晴	晴	晴	晴	晴
気温(℃)	17	24	26	23	19	17

※気象庁の最新気象情報に基づき、お天気の予測です。

津軽新報

T036-0307
 発行所 青森県黒石市前町45
 株式会社津軽新報社
 電話 0172-339111
 FAX 0172-655500
 © 津軽新報社 2013

持かたブルームになつています
 贈った人に喜んで
 いただくお酒



あまのり
 瓶乃片原造元
 株式会社鳴海醸造店
 TEL.52-3321

きょうの天気

[10月25日]
 東の風後西の風海上では南東の風やや強く弱でしょう。

黒石市の最高気温
 12.9度(0時~24時)
 16.7度(平年差+0.6度)

黒石市の最低気温
 7.2度(24日0時~9時)
 7.2度(平年差+1.2度)

日本気象協会 発表

応募登録 全国から51件



こみせの保全修理、再生の提案競技に全国から51件の応募登録

こみせ保全修理・再生

11日(来)から作品受付

黒石市 反響喜ぶ 素晴らしいアイデア期待

黒石市が初めての試みに、関係部門合わせて51件として全国に呼びかけ、こみせの保全修理・再生部門の提案競技「地見学会」を開いた。11

月11日から18日まで応募作品を受け付け、優秀作品を3点程度ずつ決定する方針。反響の大きさを黒石市は今後、全国から寄せられるアイデアに大きな期待を寄せている。

国土交通省による歴史的風致維持向上推進等調査事業による今回のこみせ再生提案競技は、こみせの空間を活用した活性化のアイデアや維持する方法、保全修理の技術や方法を提案する保全修理部門と、失われたこみせの再生や再生されたこみせの空間を活用した活性化のアイデアを提案する再生部門。

応募登録の申し込みは11日、賞金は18日です。

全国賞による成果と反響の大きさを喜んでいる。18日は希望者を対象に現地見学会を開催。こみせ通りを訪れ、カヌエラのシャッターを切る人も見られた。応募作品は11月11日から18日まで受け付け、優秀作品を関係部門3点程度ずつ選ぶ方針。弘前大学の北原啓司教授を委員長に、明治大学教授の小林正美氏、大

阪大学准教授の小浦久子氏、黒石こみせ保存会会長で、こみせ通り商店街理事長の嶋海文四郎氏、横町向上委員長の工藤勲氏、津軽こけし千人会会長の岡保六知秀氏、日本メイトストリートセンター副理事長の内藤英浩氏があたる。審査の結果は11月末に発表する予定。審査会場で発表し、後日、

審査結果を説明するのには指定しないが、意図や具体的な特徴は簡潔な説明文などを記入すること。特に再生部門は平面図、立面図、断面図、スケッチなど、こみせの設計意図がわかる図面を提出するよう求めている。12月上旬に市民ヒアリングを行い、1月18日に開く市民公開観戦シンポジウムで説明する。

新人大会の優勝報告

田舎館中「すごい」と鈴木村長 剣道部女子

田舎館中学校剣道部 道徳技術新人大会で優勝したことを報告。これを受けて鈴木孝雄村長、この日午後4時、この

全国から30点応募

こみせの保全修理・再生提案競技

審査で優秀作品選定

黒石市 1月18日公開景観シンポ

黒石市が初めての試みとして全国に応募を呼びかけた、こみせの



こみせの保全修理・再生の両部門提案競技に全国から30点の応募

「伝建群」保存地区にある貴重な遺産とあって、こみせに対する関心は極めて高く、市は審査に着手し優秀作品を両部門3点程度ずつ選定する。1月18日に開く市民公開景観シンポジウムで説明する方針だ。

応募を受けて市は24日、審査委員会(委員長・北原啓司弘前大学教授)を開き、審査に着手した。委員は北原委員長を含めて7人、両部門とも優秀作品を3点程度選定する予定だ。どんな素晴らしいアイデアが寄せられたか、また優秀作品にどのようなものを選ぶか市民の関心は高い。

自力除雪 黒石市雪害防 樹園地農道

歴史的風致維持向上等調査事業による今回のこみせ再生提案競技は、こみせの空間を活用した活性化のアイデアや維持する方法、保存修理の技術、方法を提案する保全修理部門と、失われたこみせの再生や再生されたこみせの空間を活用した活性化のアイデアを提案する再生部門がある。全国に情報を発信し、積極的に応募を呼びかけた結果、保全修理部門に10点、再生部門に20点、合わせて30点の応募があった。両部門複数応募もある。応募が多かった再生部門では、こみせを再生するための公的助成などがなかったため、基本的には所有者個人による再生という位置づけとなる。個人への負担によらない、あるいは負担を軽減した提案を求めた。

伝建群の保存地区にあり、しかも現状を知っている人(法人含む)が多いためか、こみせに対する関心が極めて高く、今回の応募につながったものといえる。

2年連続の豪雪で、リングが大きな被害を受けた黒石市は今年度、雪害防止樹園地農道除雪事業として自力除雪団体に対するモデル事業を検討している。地元が所有する機械やリースによる機械での除雪、スノーモービルによる圧雪を委託事業として効果を確認する。21日開いた各部課・機関による除雪対策会議で説明した。市はす

務委託にも取り組む方針だ。

7日健康教室

浪岡保健協力員会

青森市浪岡地区の保健協力員会は7日午前10時から浪岡総合保健福祉センターで健康教

素晴らしいアイデアだ

こみせ再生提案競技で優秀作品5点選ぶ

県内から1人、野呂氏も

黒石市 北原教授「次世代と一緒に」

【一部既報】こみせを、黒石市が全国から募集守り、再生を目指してした提案競技に30件の応募があり、18日スポ



こみせ再生の提案競技で、優秀作品に選ばれた5人が発表(18日の景観シンポジウム)

応募があり、18日スポーツセンターで開かれ、黒石市から野呂晋一さん(野呂設計)が選ばれた。いすも素晴らしいアイデアで、審査委員長を務めた弘前大学の北原啓司教授は「魅力が次の世代につながる。そのためエネルギーとお金が必要だ。次世代と一緒に育てて」と求めた。

が、「こみせを創る」ことをイメージして全

報告によると個人

両部門合わせて30件

審査の結果、5人が優秀作品に選ばれ、景観シンポジウムで発表

5人は自らの作品を紹介しアピールした。

明治大学理工学部建築学科の泉山聖成氏は「こみせマネジメントのデザインは循環型マネジメントによるこみせ再生手法」、筑

波大学都市デザイン研究室の竹淵翔太氏は「雪国のえんがわ、こみせん計画」、愛知産業大学の松本篤氏は「C.O.M.I.S.E」

多様な主体によるセルづくりを最大限に活用するのと、数多くのアイデアを設け、にぎわいを創出するものだ。

同市がいま進めている景観計画策定委員会委員長でもあり、今回の審査委員長を務めた北原教授は報告の中で「魅力が次の世代につながる」ことの必要性を強調、そのためには「(実現に)エネルギーとお金が必要」としながらも「次世代と一緒に育てて」と述べ、「まち育て」を訴えた。

「(実現に)エネルギーとお金が必要」としながらも「次世代と一緒に育てて」と述べ、「まち育て」を訴えた。

「まち育て」を訴えた。

除雪費底突く心配

黒石市で 1億円追加 平年の1.8倍、84センチに

国土交通省による歴史的風致維持向上推進等調査事業による今回のこみせ再生提案競技は、現存するこみせの保全修理部門と、失われたこみせの再生部門



冬の大鰐楽しんで

25日グルメあつたか祭り

大鰐町地域交流センター・C.O.M.E.を主催する。25日、大鰐グルメあつたか祭りが開かれる。参加券2500円、同町のうまいも

のを築し町企画、C.O.M.E.や弘前市まちなか情報センター、弘南鉄道中央弘前駅などで販売している。

祭り実行委員会が主催し、県の地域づくり推進ソフト事業で実施する。電車や温泉、名物料理と、冬の大鰐を満喫。

同町で24日に開幕する東北中学校スキー大会にあわせ、訪れた人たちに大鰐を楽しんでもらうわらわらも、午前

11時と午後4時の2回、青森シャモロック入り温泉もやし汁の振る舞いが行われる。参加券2500円を購入し、C.O.M.E.にある10店のほか、町内

大鰐町議会

使用料の改定

大鰐町議会臨時会が20日開かれ、4月の消費税8%実施を前に町

では、気温は、平年並み「低い」確率がとても

このを線と味11

県外含む120人参加

黒石市で シンポ まちづくり、景観考える

「みんなで育てる、くろいしの景観をテーマとする黒石市の景観シンポジウムは18日、スポーツカイン集会所で開かれ、県外を含む120人が参加、基調講演、景観計画を決定するや活動報告、パネルディスカッションを通して今後のまちづくり景観を考えた。市は26年ので、あいさつで鳴海広道市長はまちづくり景観のスタートの年、景観は黒石市にとって、魅力の



黒石市が開いた景観シンポジウム、県外を含む120人が参加



「こみせ再生」提案競技の優秀作品発表、表彰も

ひとこと強調、会場いっぱい参加者、みんな考えようとする気持の表れだと喜んだ。そのうえで旧松の湯再生や金草成園の整備修復を例に「参加者一人一人が黒石市の良さを伝えてほしい」と求め、高橋憲博様も大きな輪になることを願うことになった。

「黒石らしい景観づくり」と題して基調講演した弘前大学の北原啓司教授は「黒石は江戸時代からずっとマネジメントを続けてきた。苦勞しながら育てることを進めようかちゃんといいた」と評価し、古い町並みを代表するこみせを例にあげて説明

が大事なと述べた。活動報告もあり、黒石市建設課の太田淳也さんが、あずまの景観、専門家と巡るまち歩きと、黒石市景観計画の検討概要、横町十文字まちそだて会会長の村上陽心さんが「通り再生プログラム」小さなまちかど博物館、黒石市計画課の秋山みほさんが「子ども協働活動団フレイラム事業」についてそれぞれ発表

この中で太田さんは「くろいしあずまは景観に合わせた23件の応募があったと報告、また、26年度に景観計画を策定する方針であると説明した。村上さんは今後の活動についてまち歩きツアーの拡大や商品のブランド化、食のイベントのコーディネートなどをあげ、おみやげをいっぱい持ち帰ってもらおうと意欲をみせた。

市が募集した「こみせ再生」提案競技で、明治大学理工学部建築学科の泉山崇威さん、筑波大学都市デザイン研究室の竹瀬翔太さん、愛知産業大学の松本篤さん、野呂設計室(黒石市)の野呂晋一さん、都市環境研究所の酒井沢菜さんの5人が提案した作品が優秀作品に選ばれ、表彰と作品発表が行われた。黒石高校の木村汰太さんには、審査員奨励賞が贈られた。

一緒に楽しく踊ろう

黒石市中央スポーツ館 KOIソローラン講習会

黒石市中央スポーツ館(佐藤秀俊館長)が主催するYOSA KOIソローラン講習会は26日から6回YOSAを踊ろうと参加を呼びかけている。申し込みは同館へ(電話029-261-2255) 6回にわたって開催する。日程では、26日と2月2日が午前11時半、午後1時半、2月11日が午後0時半、2

とっておきの景観を

写真、イラスト、スケッチも

計画策定に向け募集

黒石市

11月3日と9日まち歩き 来年1月にシンポジウム

地域の魅力を高めるため、景観計画策定委員会が、景観を募集し、11月3日に建設委員と一緒



黒石市景観計画の策定に、とっておきの景観を募集

朝のあいさつ運動

田舎館村 教 委

11月9日に巨木と暮ら

に反映。今後の景観づく

8千121万6千円、64

▽臨時フォーリアート

町11の1黒石市建設部
建設課都市計画係へ。

郵送、持参のほか、パ
会員の北山秀美さんと
学芸員の鈴木徹さんと
両日とも午後1時20分
まで集合し、1時半出
発する。事前申し込み
制で、面談15人程度を
集め、興味のある人は
早めに申し込みたい。

21日から秋の火災予防運動 パレード、防火教室(黒石)

「消すまでは心の
警報」ONのままを
全国統一防火標語とす
る秋の火災予防運動は
21日から27日までの1
週間、県下一斉に行わ
れる。

今年7月、広域化で
発足した弘前地区消防
事務組合は、住宅防火
対策の推進などを重点
目標に、さまざまな運
動を繰り広げるが、黒
石消防署内でもパレ
ードや防火教室、夜間想
定の消防訓練が行われ
た。

25日はほかに、黒石
市のアリス保育園で防
火教室、24日はりんご



の郷で夜間想定消防訓練が行われる。防火

社説

黒石市が観光地として発展するため
の鍵を握る地点が一つ、2015年度
にも公開開始となる。大石武学流産園
が見守る(宮田名勝・金平成園(澤成園))
と、こみせの屋敷を貫く松がシンボル
の旧「松の湯」。最近回廊と徒歩コ
ンコースが離れておらず、両施設を効
果的に生かす施策が求められる。
国の重要伝統的建造物群保存地区に
指定される「こみせ通り」は市が誇る
一級の観光資源だ。休日、平日を問わ
ず、観光客である人々がカメラを向
ける姿を見守ける。その一角に位置す
る旧「松の湯」は観光拠点や地域住民
のコミュニケーション施設などの機能
を有し、観光客と住民の交流が図られ

黒石の観光振興

課題解消は来訪者目線不可欠

るとの期待もある。一方の金平成園は
大石武学流産園の様式を良好に保ち、
高い壁に囲まれていたため普段
は内部をつかえず、特別公開の際に
は保存修理中にもかかわらず、種ある
風情を一目見ようと多くの人が訪れ
ている。
街歩きが観光に選んだコンパクトな
中心市街地は黒石市の強みだ。両施設
を巡る観光客が増えるだろう。ただ観
光客も、再施設間で日中に営業して
いる店や立ち寄れる場所が少ないこと
だ。市は14年度の重点事業案に空き店
舗対策を盛り込む方針を固めた。日中
に営業する小売業やサービスの新規
出店を促して商店街活性化を図り、回
路の表れもあるかもしれないが、中心市
街地の商店街であることを受けると、
かつて多くの人でにぎわったところ
黒石坂下の「商人の町」は想像できな
いのではない。
事業案では、これまで店舗賃借料を
上限10万円、6カ月間補助していたも
のを、5万円を上限に1年間とする。

社説

ひびきし屋敷を貫く松の木が印象的な
黒石市の旧「松の湯」建物の再生工事が
本格化した。市が取得した旧松の湯
は、明治時代から営業してきた公衆浴
場だ。地域住民のコミュニケーション
の場だった。再生工事で観光や防災の
拠点施設になるが、同時に市民の交流
の場としての機能も併せ持つ。公衆浴
場になくなくても市民が集い、憩いの
空間という従来の通りの役割は守り継
がれる。今年度は旧回廊の一時解体工
事がある土蔵の再建、シンボルである松
の維持管理などを行っている。
工事に当たって設置した遊歩は、松
がある部分に透明なアクリル板の遊歩
を設け、壁には完成予想図も掲示し

進む旧「松の湯」再生

た。工事に強い必要だが、国の重要
伝統的建造物群保存地区に位置してお
り、工事風景は藩政時代の趣を醸し出
すこみせ通りの雰囲気を壊してしま
う。形を完成予想図は、こみせ通りに配
したもので、防れた観光客に「完成し
たなら、もう一度来たい」と思わせ、地
元市民の関心を高める。小さなけれど
効果的的手法だ。
再生事業は市が財政監理中に行う数
少ないハード事業だ。中心市街地活
性の起爆剤と位置付けたにもかかわらず
、当初は担当部署以外の市職員が、
ほとんどの内容を知らない状況だった。
市職員が住み慣れないものを市民、観光
客が期待するはずはない。そこで市は

市民が未来を考える絶好機

かかると中継は、残された方々のため
大石武学流産園だった可能性が対上し
ており、もし変更しなければ、駆力の
一つを失ったかもしれない。市を挙げ
た取り組みの成果だろう。
完成時期は未定だが、早ければ15年
15年度にもオープンできるとみられ
るほか、こみせ通りの無難性にも計画
され、ハード部の整備は良好な
形で進んでいる。加えて保存修理中の
国名勝・金平成園(澤成園)も、同時
期の公開予定だ。こみせ通りも金平成
園も、他市の観光関係者がうらやむほ
どの観光資源だ。これらを最大限
に生かすため、今度はソフト面の整備
が重要になる。
市が維持管理や収益利用方法ならに
ついては「アイデアを募集」「こみ
せ」再生推進委員会には市民の応募登
録があった。とんだアイデアが寄せら
れるのが楽しみだ。また提案書だけ
で満足してはならない。多くの市民が
共有財産と認識し、積極的に関わる任
務がほしい。整備が進む現在、中
心市街地活性化に力をつけ、市民一
人ひとりに市の未来を考えようとい
う意識を持たせる絶好機ではないか。

黒石・県内初

街なかの店舗など観光資源に 「小さな博物館」始動

歴史的資料や建物、優れた技を持った人。街に点在するこれらを博物館に見立て、街歩き型観光の資源に育てようという本県初の試み「小さなまちかど博物館」事業が黒石市で始まった。市と商店街、市民団体が連携して中心市街地活性化を図る。市は28日に「文四郎酒蔵館(鳴海醸造)」「火の見やぐら館(第3消防屯所)」など10件を認定。11月と12月に「博物館。を巡るツアーを(鳴海学)

が連携して中心市街地活性化を図る。市は28日に「文四郎酒蔵館(鳴海醸造)」「火の見やぐら館(第3消防屯所)」など10件を認定。11月と12月に「博物館。を巡るツアーを(鳴海学)

酒蔵館 餅の伝承館 おしゃれ館…

10件認定、来月ツアー



鳴海市長(右)から認定証を受ける「博物館長」ら

かつて団体ツアーが主だった観光は、小グループや個人による街歩き型中心に変化。この動きに対応し、街の魅力を再発見・認識して観光資源に育て、観光客の滞留時間を増やすのが狙い。同様の取り組みは全国で20例で、餅の伝承館(守山餅店)、アンティークおしゃれ館(フープル)といった「博物館名」を付けた。市役所で開かれた認定式では、村上豊継・選定委員長の経緯報告に続き、鳴海広道市長が各「博物館長」に認定証を交付し「他市町村にない宝物がたくさんある。活性化、観光に結び付けていけるよう、市もバックアップする」とあいさつ。認定は市のお墨付きとして観光客に安心感を与えらるもので、近く認定板を店頭などに掲示する。

認定を受けたポッコ靴工房(Kポッコ)は、製造工程を知ってもらえるよう一部改装を計画しており、関係者は「こういった取り組みが

事業は国土交通省東北運輸局と東北観光推進協会が行われた。青森会場の商談会は「ヤサレビス、周辺地域の観光スポットなどを



満光台観

京都千代田区)で行われ。道芸術の向上に努め、小原流青森支部長の要

みが周辺の店舗・施設などを刺激し、自店の魅力を見直す動きが加速すると期待。来年度も新たな「博物館」を認定する方針だ。「博物館」の活用は、活性化を進める若者グループ横町十文字「まちそと」や、こみせ通り商店街振興組合などが担う。最初の取り組みが11月23日と決

交通死抑止へ緊急

県下一斉取り締

今月に入り県内で交通死亡事故が相次いでいることを受け、県警は28日から、県下一斉「交通死亡事故抑止緊急10日間作戦」を開始した。11月6日まで、各警察署が管内の交通取り締まりの強化や主要幹線道路での街頭活動を積極的に行う。弘前警察署では出動式を行って警員らが士気を高め、一斉にパトロールに向かった。県内では今月1日から27日現在、交通死亡事故が6件発生し、6人が死亡。特に17日以降のわずかに11日間に、5人が相次いで亡くなっている。6人のうち5人が高齢者で、早朝時の事故が半数を占めた。同署管内では20日午後5時42分ごろ、歩行中の高齢者1



黒石市にある黒戸(しとふど)を観光客に伝える参加型

黒石の魅力 再発見



黒石市、新観光ツアー「まち歩きツアー」の開始を祝った



黒石時代に建設された第二回黒石市史館の内部を見学

「黒石の魅力再発見」をテーマに、黒石市観光協会が主催する「まち歩きツアー」が、12月14日(日)に黒石市史館でスタートした。このツアーは、黒石市の歴史や文化を、黒石市史館の展示品や、黒石市街の散策を通じて、参加者に伝えることを目的としている。

当日は、黒石市史館の展示品や、黒石市街の散策を通じて、参加者に伝えることを目的としている。また、黒石市史館の展示品や、黒石市街の散策を通じて、参加者に伝えることを目的としている。

このツアーは、黒石市の歴史や文化を、黒石市史館の展示品や、黒石市街の散策を通じて、参加者に伝えることを目的としている。また、黒石市史館の展示品や、黒石市街の散策を通じて、参加者に伝えることを目的としている。

小さなまちかど 博物館認定記念 まち歩きツアー



この日は黒石市から約40人が参加



津波にさらわれた歴史文化について解説する「津波博物館」(今山地区)の今山正幸さん



津波博物館の展示品。津波博物館の展示品。津波博物館の展示品。



ツアーを前に内閣さんのおまかせツアーや黒石の歴史に関する展示に目を凝らす

社説

2013・11・30

黒石まちかど博物館

黒石市は本年度から「小なまちかど博物館」事業を始めた。黒石ならではの文化や個性を体感できる建物、古な名所「博物館」として認定し、街歩き観光のほか、中心街の活性化にも生かすという。市長が一体となった取り組みだ。

同市の中心街には、全国的にも貴重な木造のアーケード「二みせ」をはじめ、今も藩制時代の面影が色濃く残る。同事業によって、先人から受け継いできた歴史の遺産や、そこに暮らす

人々の営みに光を当て、黒石の魅力を生かす上からせることができると、これら「博物館」を訪ねることを奨励し、市が10月10カ所を認定した。

「まちかど探訪 黒石ま

にぎわい創出に生かせ

「まちかど探訪」が関係者の手で11月23日に行われた。同事業のスタートを機に、地域の活性化を生かした取組みを進めると同時に、ほかにもできることがないか官民で知恵を絞る。恒久的な生かすの創出に

価値物としての価値が高まる。思わず訪れてみたくなる。国指定重要文化財、大正4年のレトロな雰囲気、消防のレトロな雰囲気や餅屋、天然酵母を使った手作りパンの長崎屋、歴史と個性豊かな分館がある。あらかた分館に

「博物館」を中心に巡り歩いた25日のツアーは、

「博物館」を中心に巡り歩いた25日のツアーは、

「まちかど探訪」が関係者の手で11月23日に行われた。同事業のスタートを機に、地域の活性化を生かした取組みを進めると同時に、ほかにもできることがないか官民で知恵を絞る。恒久的な生かすの創出に

価値物としての価値が高まる。思わず訪れてみたくなる。国指定重要文化財、大正4年のレトロな雰囲気、消防のレトロな雰囲気や餅屋、天然酵母を使った手作りパンの長崎屋、歴史と個性豊かな分館がある。あらかた分館に

「博物館」を中心に巡り歩いた25日のツアーは、

「博物館」を中心に巡り歩いた25日のツアーは、

を所建りだけが観光はなら、特に近年はその傾向が顕著になってきている。黒石市は、町並みを眺めながら、その土地の文化や歴史を学ぶことができる。黒石市は、町並みを眺めながら、その土地の文化や歴史を学ぶことができる。黒石市は、町並みを眺めながら、その土地の文化や歴史を学ぶことができる。

社説

「博物館」事業

認定で満足せず定期的検証を

「まちかど探訪」が関係者の手で11月23日に行われた。同事業のスタートを機に、地域の活性化を生かした取組みを進めると同時に、ほかにもできることがないか官民で知恵を絞る。恒久的な生かすの創出に

価値物としての価値が高まる。思わず訪れてみたくなる。国指定重要文化財、大正4年のレトロな雰囲気、消防のレトロな雰囲気や餅屋、天然酵母を使った手作りパンの長崎屋、歴史と個性豊かな分館がある。あらかた分館に

「博物館」を中心に巡り歩いた25日のツアーは、

「博物館」を中心に巡り歩いた25日のツアーは、

「まちかど探訪」が関係者の手で11月23日に行われた。同事業のスタートを機に、地域の活性化を生かした取組みを進めると同時に、ほかにもできることがないか官民で知恵を絞る。恒久的な生かすの創出に

価値物としての価値が高まる。思わず訪れてみたくなる。国指定重要文化財、大正4年のレトロな雰囲気、消防のレトロな雰囲気や餅屋、天然酵母を使った手作りパンの長崎屋、歴史と個性豊かな分館がある。あらかた分館に

「博物館」を中心に巡り歩いた25日のツアーは、

「博物館」を中心に巡り歩いた25日のツアーは、

「まちかど探訪」が関係者の手で11月23日に行われた。同事業のスタートを機に、地域の活性化を生かした取組みを進めると同時に、ほかにもできることがないか官民で知恵を絞る。恒久的な生かすの創出に

価値物としての価値が高まる。思わず訪れてみたくなる。国指定重要文化財、大正4年のレトロな雰囲気、消防のレトロな雰囲気や餅屋、天然酵母を使った手作りパンの長崎屋、歴史と個性豊かな分館がある。あらかた分館に

「博物館」を中心に巡り歩いた25日のツアーは、

「博物館」を中心に巡り歩いた25日のツアーは、